

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-129996

(P2002-129996A)

(43) 公開日 平成14年5月9日(2002.5.9)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)	
F 0 2 D 21/08	3 0 1	F 0 2 D 21/08	3 0 1 B	3 G 0 6 2
			3 0 1 A	3 G 0 8 4
			3 0 1 C	3 G 0 9 2
	3 1 1		3 1 1 B	3 G 3 0 1
41/02	3 1 0	41/02	3 1 0 E	
審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 12 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号 特願2000-325624(P2000-325624)

(22) 出願日 平成12年10月25日(2000.10.25)

(71) 出願人 000003207

トヨタ自動車株式会社

愛知県豊田市トヨタ町1番地

(72) 発明者 柴田 大介

愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

(72) 発明者 松下 宗一

愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

(74) 代理人 100089244

弁理士 遠山 勉 (外3名)

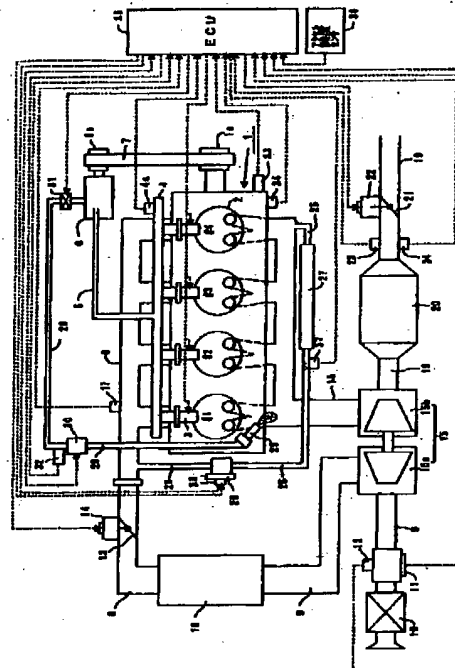
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 内燃機関の排気浄化装置

(57) 【要約】

【課題】 内燃機関の排気エミッションの悪化防止に寄与する。

【解決手段】 内燃機関1の運転状態を検出する運転状態検出手段36と、EGRガスの温度を計測するEGRガス温度計測手段37と、運転状態及びEGRガス温度に基づいてEGRクーラ27の冷却効率を推定するEGRクーラ冷却効率推定手段35と、内燃機関1に吸入される空気の量及びEGRガスの量をパラメータに含み内燃機関1に供給する燃料の量を決定する燃料主噴射量決定手段35と、内燃機関1の吸入新気量をEGRクーラ冷却効率に基づいて補正する吸入新気量補正手段14と、内燃機関1のEGRガス量をEGRクーラ冷却効率に基づいて補正するEGRガス量補正手段26と、を具備した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 内燃機関の吸気系に排気の一部を再循環させるEGR装置と、
前記EGR装置を再循環するEGRガスを冷却させるEGRクーラと、

を具備する内燃機関の排気浄化装置において、
前記内燃機関の運転状態を検出する運転状態検出手段と、

前記EGR装置を再循環するEGRガスの温度を計測するEGRガス温度計測手段と、

前記運転状態検出手段により検出された運転状態及び前記EGRガス温度計測手段により計測されたEGRガスの温度に基づいて前記EGRクーラの冷却効率を推定するEGRクーラ冷却効率推定手段と、

前記内燃機関に吸入される空気量及びEGRガスの量をパラメータに含み内燃機関に供給する燃料の量を決定する燃料主噴射量決定手段と、

前記EGRクーラ冷却効率と共に変化する内燃機関に吸入される新気量を前記EGRクーラ冷却効率推定手段により推定されたEGRクーラ冷却効率に基づいて補正する吸入新気量補正手段と、

前記EGRクーラ冷却効率と共に変化する内燃機関に吸入されるEGRガスを前記EGRクーラ冷却効率推定手段により推定されたEGRクーラ冷却効率に基づいて補正するEGRガス量補正手段と、

を具備することを特徴とする内燃機関の排気浄化装置。

【請求項2】 前記EGRクーラ冷却効率推定手段は、予め求められたEGRクーラの冷却効率とEGRクーラを通過した後のEGRガス温度との相関関係に基づいてEGR冷却効率を算出することを特徴とする請求項1に記載の内燃機関の排気浄化装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、内燃機関の排気を浄化する排気浄化装置、特に排気ガス再循環装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、自動車等に搭載される内燃機関、特に酸素過剰状態の混合気（所謂、リーン空燃比の混合気）を燃焼可能とするディーゼル機関やリーンバーン・ガソリン機関では、該内燃機関の排気中に含まれる窒素酸化物（NOx）を浄化する技術が望まれている。

【0003】このような要求に対し、内燃機関の排気系にリーンNOx触媒を配置する技術が提案されている。リーンNOx触媒の一つとして、流入する排気の酸素濃度が高いときは排気中の窒素酸化物（NOx）を吸収し、流入する排気の酸素濃度が低下し且つ還元剤が存在するときは吸収していた窒素酸化物（NOx）を放出しつつ窒素（N₂）に還元する吸蔵還元型NOx触媒が知られている。

【0004】吸蔵還元型NOx触媒が内燃機関の排気系に配置されると、内燃機関が希薄燃焼運転されて排気中の空燃比が高くなるときは排気中の窒素酸化物（NOx）が吸蔵還元型NOx触媒に吸収され、吸蔵還元型NOx触媒に流入する排気中の空燃比が低くなったときは吸蔵還元型NOx触媒に吸収されていた窒素酸化物（NOx）が放出されつつ窒素（N₂）に還元される。

【0005】ところで、吸蔵還元型NOx触媒のNOx吸収能力には限りがあるため、内燃機関が長期にわたって希薄燃焼運転されると、吸蔵還元型NOx触媒のNOx吸収能力が飽和し、排気中の窒素酸化物（NOx）が吸蔵還元型NOx触媒によって除去されることなく大気中に放出されることになる。

【0006】従って、吸蔵還元型NOx触媒を希薄燃焼式内燃機関に適用する場合は、吸蔵還元型NOx触媒のNOx吸収能力が飽和する前に該吸蔵還元型NOx触媒に流入する排気中の空燃比を低下させる、所謂リッチスパイク制御を実行することにより、吸蔵還元型NOx触媒に吸収されている窒素酸化物（NOx）を放出及び還元させる必要がある。

【0007】リッチスパイク制御の具体的な方法としては、吸蔵還元型NOx触媒より上流を流れる排気中に還元剤たる燃料を添加する方法を例示することができる。

【0008】尚、吸蔵還元型NOx触媒より上流の排気中に還元剤を添加する場合は、吸蔵還元型NOx触媒に吸収されている窒素酸化物（NOx）に応じて還元剤の添加量を正確に制御することも重要である。

【0009】これは、吸蔵還元型NOx触媒に吸収されている窒素酸化物（NOx）に対して還元剤の添加量が過剰に多くされると余剰の還元剤が大気中に放出されることになり、吸蔵還元型NOx触媒に吸収されている窒素酸化物（NOx）に対して還元剤の添加量が不足すると吸蔵還元型NOx触媒のNOx吸収能力が飽和し、排気中の窒素酸化物（NOx）が浄化されずに大気中に放出されることになるからである。

【0010】このような問題に対し、従来では、特許第2845056号公報に記載されたような内燃機関の排気浄化装置が提案されている。この公報に記載された内燃機関の排気浄化装置は、吸蔵還元型NOx触媒において排気中の酸素と反応して消費される還元剤の量と吸蔵還元型NOx触媒に吸収されている窒素酸化物（NOx）を還元するために必要となる還元剤の量とを考慮して、還元剤の添加量を決定することにより、還元剤の過剰供給や供給不足を防止、以て還元剤や窒素酸化物（NOx）の大気中への放出による排気エミッションの悪化を抑制しようとするものである。

【0011】また、内燃機関から排出される窒素酸化物（NOx）の量を低減する方法としては、内燃機関の排気通路を流れる排気の一部を該内燃機関の吸気通路へ再循環させる排気再循環（EGR：Exhaust Gas Recircul

ation) 装置を利用する方法が提案されている。

【0012】EGR装置は、排気中に含まれる水蒸気(H_2O)、一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO_2)等の不活性ガス成分が持つ不燃性及び吸熱性を利用して、内燃機関の燃焼室における混合気の燃焼速度及び燃焼温度を低下させ、以て燃焼時に発生する窒素酸化物(NO_x)の量を低減させるものである。

【0013】尚、上記したようなEGR装置としては、内燃機関の排気通路と吸気通路とを連通するEGR通路と、EGR通路内を流れる排気(EGRガス)の流量を調整するEGR弁とから構成される装置や、EGR通路及びEGR弁に加えてEGRガスを冷却するためのEGRクーラをEGR通路の途中に設けて構成される装置等、種々の構成の装置が提案されている。

【0014】

【発明が解決しようとする課題】ところで、前述した公報に記載されたようなリッチスパイク制御を行うディーゼルエンジンのEGR装置では、 NO_x 還元触媒が未活性状態にある場合は、EGRガス中に含まれる煤や未燃炭化水素(HC)などのSOF(Soluble Organic Function)成分が NO_x 還元触媒で消費されずにEGRクーラへ流入することになる。このような事象が繰り返されると、EGRクーラにSOF成分が堆積してEGRクーラの目詰まりが発生する虞がある。

【0015】更に、前記したディーゼルエンジンのEGR装置では、EGRクーラやEGR通路の目詰まりを検出する手段を備えていないため、実際にEGRクーラやEGR通路の目詰まりが発生した場合には所望量のEGRガスを吸気通路へ再循環させることが困難となり、その結果、内燃機関における窒素酸化物(NO_x)の発生量を十分に低減することができなくなる場合がある。

【0016】本発明は、上記したような種々の問題に鑑みてなされたものであり、内燃機関の排気エミッションの悪化防止に寄与することを目的とする。

【0017】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記した課題を解決するために以下のような手段を採用した。

【0018】すなわち、本発明に係る内燃機関の排気浄化装置は、内燃機関の吸気系に排気の一部を再循環させるEGR装置と、前記EGR装置を再循環するEGRガスを冷却させるEGRクーラと、を具備する内燃機関の排気浄化装置において、前記内燃機関の運転状態を検出する運転状態検出手段と、前記EGR装置を再循環するEGRガスの温度を計測するEGRガス温度計測手段と、前記運転状態検出手段により検出された運転状態及び前記EGRガス温度計測手段により計測されたEGRガスの温度に基づいて前記EGRクーラの冷却効率を推定するEGRクーラ冷却効率推定手段と、前記内燃機関に吸入される空気の量及びEGRガスの量をパラメータに含み内燃機関に供給する燃料の量を決定する燃料主噴

射量決定手段と、前記EGRクーラ冷却効率と共に変化する内燃機関に吸入される新気の量を前記EGRクーラ冷却効率推定手段により推定されたEGRクーラ冷却効率に基づいて補正する吸入新気量補正手段と、前記EGRクーラ冷却効率と共に変化する内燃機関に吸入されるEGRガスの量を前記EGRクーラ冷却効率推定手段により推定されたEGRクーラ冷却効率に基づいて補正するEGRガス量補正手段と、を具備した。

【0019】前記EGRクーラ冷却効率推定手段は、予め求められたEGRクーラの冷却効率とEGRクーラを通過した後のEGRガス温度との相関関係に基づいてEGR冷却効率を算出することができる。

【0020】このように構成された内燃機関の排気浄化装置では、内燃機関から排出された排気の一部を吸気系に再循環し、再循環ガス(EGRガス)は新気と共に燃焼室に吸入される。EGRガスは自ら燃焼することはなく、燃焼温度を低下させる働きをし、以て窒素酸化物(NO_x)の発生量が抑制される。

【0021】EGRクーラは、EGRガスと冷媒との間で熱交換を行いEGRガスを冷却するものである。EGRガスが冷却されると、EGRガスの体積が縮小されるため、EGRガスが燃焼室内に供給されたときに該燃焼室内の雰囲気温度が不要に上昇することがなくなるとともに、燃焼室内に供給される新気の量が不要に減少されることがない。

【0022】しかし、EGRクーラに詰まりが発生した場合は、詰まりが発生していない場合に比してEGRクーラにおける熱交換効率が低下する。

【0023】一方、所定の運転状態における代表的な状態(例えば新品状態)のEGRクーラを通過した後のEGRガスの温度は、その運転状態に応じた一定の温度となる。

【0024】そこで、ある運転条件下である代表的な状態のEGRクーラを通過した後のEGRガスの温度とEGRクーラを通過する前のEGRガスの温度とを予め実験で求めておけば、EGRガス温度とEGRクーラの効率との関係を導くことができる。

【0025】この関係を用いて、EGRクーラ冷却効率推定手段はEGRクーラ通過後の排気の温度をパラメータとしてEGRクーラの効率を推定することができる。

【0026】前記吸入新気量補正手段及び前記EGRガス量補正手段は、吸気絞り弁及びEGR制御弁とその制御装置とを例示することができ、EGRクーラの冷却効率に基づいて開弁率を変更し、内燃機関の燃焼室に吸入される新気量及びEGRガス量を補正することができる。

【0027】上記したEGRクーラとしては、大気とEGRガスとの間で熱交換を行う空冷式のクーラや、所定の冷却水とEGRガスとの間で熱交換を行う水冷式のクーラを例示することができる。所定の冷却水は、内燃機

関用の冷却水でもよいし、EGRガスのみを冷却するための専用の冷却水であってもよい。

【0028】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る内燃機関の排気浄化装置の具体的な実施態様について図面に基づいて説明する。ここでは、本発明に係る排気浄化装置を車両駆動用のディーゼル機関に適用した場合を例に挙げて説明する。

【0029】図1は、本発明に係る排気浄化装置を適用する内燃機関とその吸排気系の概略構成を示す図である。

【0030】図1に示す内燃機関1は、4つの気筒2を有する水冷式の4ストローク・ディーゼル機関である。

【0031】内燃機関1は、各気筒2の燃焼室に直接燃料を噴射する燃料噴射弁3を備えている。各燃料噴射弁3は、燃料を所定圧まで蓄圧する蓄圧室（コモンレール）4と接続されている。このコモンレール4には、該コモンレール4内の燃料の圧力に対応した電気信号を出力するコモンレール圧センサ4aが取り付けられている。

【0032】前記コモンレール4は、燃料供給管5を介して燃料ポンプ6と連通している。この燃料ポンプ6は、内燃機関1の出力軸（クランクシャフト）の回転トルクを駆動源として作動するポンプであり、該燃料ポンプ6の入力軸に取り付けられたポンププリー1aが内燃機関1の出力軸（クランクシャフト）に取り付けられたクランクプリー1aとベルト7を介して連結されている。

【0033】このように構成された燃料噴射系では、クランクシャフトの回転トルクが燃料ポンプ6の入力軸へ伝達されると、燃料ポンプ6は、クランクシャフトから該燃料ポンプ6の入力軸へ伝達された回転トルクに応じた圧力で燃料を吐出する。

【0034】前記燃料ポンプ6から吐出された燃料は、燃料供給管5を介してコモンレール4へ供給され、コモンレール4にて所定圧まで蓄圧されて各気筒2の燃料噴射弁3へ分配される。そして、燃料噴射弁3に駆動電流が印加されると、燃料噴射弁3が開弁し、その結果、燃料噴射弁3から気筒2内へ燃料が噴射される。

【0035】次に、内燃機関1には、吸気枝管8が接続されており、吸気枝管8の各枝管は、各気筒2の燃焼室と図示しない吸気ポートを介して連通している。

【0036】前記吸気枝管8は、吸気管9に接続され、この吸気管9は、エアクリーナボックス10に接続されている。前記エアクリーナボックス10より下流の吸気管9には、該吸気管9内を流れる吸気の質量に対応した電気信号を出力するエアフローメータ11と、該吸気管9内を流れる吸気の温度に対応した電気信号を出力する吸気温度センサ12とが取り付けられている。

【0037】前記吸気管9における吸気枝管8の直上流に位置する部位には、該吸気管9内を流れる吸気の流量

を調節する吸気絞り弁13が設けられている。この吸気絞り弁13には、ステッパモータ等で構成されて該吸気絞り弁13を開閉駆動する吸気絞り用アクチュエータ14が取り付けられている。

【0038】前記エアフローメータ11と前記吸気絞り弁13との間に位置する吸気管9には、排気の熱エネルギーを駆動源として作動する遠心過給機（ターボチャージャ）15のコンプレッサハウジング15aが設けられ、コンプレッサハウジング15aより下流の吸気管9には、前記コンプレッサハウジング15a内で圧縮されて高温となった吸気を冷却するためのインタークーラ16が設けられている。

【0039】このように構成された吸気系では、エアクリーナボックス10に流入した吸気は、該エアクリーナボックス10内の図示しないエアクリーナによって吸気中の塵や埃等が除去された後、吸気管9を介してコンプレッサハウジング15aに流入する。

【0040】コンプレッサハウジング15aに流入した吸気は、該コンプレッサハウジング15aに内装されたコンプレッサホイールの回転によって圧縮される。前記コンプレッサハウジング15a内で圧縮されて高温となった吸気は、インタークーラ16にて冷却された後、必要に応じて吸気絞り弁13によって流量を調節されて吸気枝管8に流入する。吸気枝管8に流入した吸気は、各枝管を介して各気筒2の燃焼室へ分配され、各気筒2の燃料噴射弁3から噴射された燃料を着火源として燃焼される。

【0041】一方、内燃機関1には、排気枝管18が接続され、排気枝管18の各枝管が図示しない排気ポートを介して各気筒2の燃焼室と連通している。

【0042】前記排気枝管18は、前記遠心過給機15のタービンハウジング15bと接続されている。前記タービンハウジング15bは、排気管19と接続され、この排気管19は、下流にて図示しないマフラーに接続されている。

【0043】前記排気管19の途中には、排気中の有害ガス成分を浄化するための排気浄化触媒20が配置されている。排気浄化触媒20より下流の排気管19には、該排気管19内を流れる排気の空燃比に対応した電気信号を出力する空燃比センサ23と、該排気管19内を流れる排気の温度に対応した電気信号を出力する排気温度センサ24とが取り付けられている。

【0044】前記した空燃比センサ23及び排気温度センサ24より下流の排気管19には、該排気管19内を流れる排気の流量を調節する排気絞り弁21が設けられている。この排気絞り弁21には、ステッパモータ等で構成されて該排気絞り弁21を開閉駆動する排気絞り用アクチュエータ22が取り付けられている。

【0045】このように構成された排気系では、内燃機関1の各気筒2で燃焼された混合気（既燃ガス）が排気

ポートを介して排気枝管18へ排出され、次いで排気枝管18から遠心過給機15のタービンハウジング15bへ流入する。タービンハウジング15bに流入した排気は、該排気を持つ熱エネルギーを利用してタービンハウジング15b内に回転自在に支持されたタービンホイールを回転させる。その際、タービンホイールの回転トルクは、前述したコンプレッサハウジング15aのコンプレッサホイールへ伝達される。

【0046】前記タービンハウジング15bから排出された排気は、排気管19を介して排気浄化触媒20へ流入し、排気中の有害ガス成分が除去又は浄化される。排気浄化触媒20にて有害ガス成分を除去又は浄化された排気は、必要に応じて排気絞り弁21によって流量を調節された後にマフラーを介して大気中に放出される。

【0047】また、排気枝管18と吸気枝管8とは、排気枝管18内を流れる排気の一部を吸気枝管8へ再循環させる排気再循環通路(EGR通路)25を介して連通されている。このEGR通路25の途中には、電磁弁などで構成され、印加電力の大きさに応じて前記EGR通路25内を流れる排気(以下、EGRガスと称する)の流量を変更する流量調整弁(EGR弁)26が設けられている。

【0048】前記EGR弁26には、該EGR弁26の開度に対応した電気信号を出力するEGR開度センサ38が取り付けられている。このEGR開度センサ38としては、例えば、EGR弁26の開閉動作に連動して抵抗体上を摺動する金属接点を備えたポテンシオメータや、EGR弁26の開閉動作に連動して回転するスロットディスクと、スロットディスクを介して対向するよう配置されたLED及びフォトトランジスタからなるフォトインタラプタとを備えたフォトインタラプタ方式のセンサ等を例示することができる。

【0049】前記EGR通路25においてEGR弁26より上流の部位には、該EGR通路25内を流れるEGRガスを冷却するEGRクーラ27が設けられている。

【0050】このように構成された排気再循環機構では、EGR弁26が開弁されると、EGR通路25が導通状態となり、排気枝管18内を流れる排気の一部が前記EGR通路25へ流入し、EGRクーラ27を経て吸気枝管8へ導かれる。

【0051】その際、EGRクーラ27では、EGR通路25内を流れるEGRガスと所定の冷媒との間で熱交換が行われ、EGRガスが冷却されることになる。

【0052】EGR通路25を介して排気枝管18から吸気枝管8へ還流されたEGRガスは、吸気枝管8の上流から流れてきた新気と混ざり合いつつ各気筒2の燃焼室へ導かれ、燃料噴射弁3から噴射される燃料を着火源として燃焼される。

【0053】ここで、EGRガスには、水(H₂O)や二酸化炭素(CO₂)などのように、自らが燃焼するこ

とがなく、且つ、吸熱性を有する不活性ガス成分が含まれているため、EGRガスが混合気中に含有されると、混合気の燃焼温度が低められ、以て窒素酸化物(NO_x)の発生量が抑制される。

【0054】更に、EGRクーラ27においてEGRガスが冷却されると、EGRガス自体の温度が低下するとともにEGRガスの体積が縮小されるため、EGRガスが燃焼室内に供給されたときに該燃焼室内の雰囲気温度が不要に上昇することがなくなるとともに、燃焼室内に供給される新気の量(新気の体積)が不要に減少することもない。

【0055】排気浄化触媒20は、還元剤の存在下で排気中の窒素酸化物(NO_x)を浄化するNO_x触媒である。このようなNO_x触媒としては、選択還元型NO_x触媒や吸蔵還元型NO_x触媒等を例示することができるが、ここでは吸蔵還元型NO_x触媒を例に挙げて説明する。以下、排気浄化触媒20を吸蔵還元型NO_x触媒20と称するものとする。

【0056】吸蔵還元型NO_x触媒20は、例えば、アルミナを担体とし、その担体上に、カリウム(K)、ナトリウム(Na)、リチウム(Li)、もしくはセシウム(Cs)等のアルカリ金属と、バリウム(Ba)もしくはカルシウム(Ca)等のアルカリ土類と、ランタン(La)もしくはイットリウム(Y)等の希土類とから選択された少なくとも1つと、白金(Pt)等の貴金属とを担持して構成されている。尚、本実施の形態では、アルミナからなる担体上にバリウム(Ba)と白金(Pt)とを担持して構成される吸蔵還元型NO_x触媒を例に挙げて説明する。

【0057】このように構成された吸蔵還元型NO_x触媒20は、該吸蔵還元型NO_x触媒20に流入する排気の酸素濃度が高いときは排気中の窒素酸化物(NO_x)を吸収する。

【0058】一方、吸蔵還元型NO_x触媒20は、該吸蔵還元型NO_x触媒20に流入する排気の酸素濃度が低下したときは吸収していた窒素酸化物(NO_x)を放出する。その際、排気中に炭化水素(HC)や一酸化炭素(CO)等の還元成分が存在していれば、吸蔵還元型NO_x触媒20は、該吸蔵還元型NO_x触媒20から放出された窒素酸化物(NO_x)を窒素(N₂)に還元せしめることができる。

【0059】尚、吸蔵還元型NO_x触媒20のNO_x吸放出作用については明らかにされていない部分もあるが、おおよそ以下のようなメカニズムによって行われていると考えられる。

【0060】まず、吸蔵還元型NO_x触媒20では、該吸蔵還元型NO_x触媒20に流入する排気の空燃比がリーン空燃比となって排気中の酸素濃度が高まると、図2(A)に示されるように、排気中の酸素(O₂)がO₂⁻またはO₂²⁻の形で白金(Pt)の表面上に付着する。排

気中の一酸化窒素 (NO) は、白金 (Pt) の表面上で O_2 または O^{2-} と反応して二酸化窒素 (NO_2) を形成する ($2\text{NO} + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{NO}_2$)。二酸化窒素 (NO_2) は、白金 (Pt) の表面上で更に酸化され、硝酸イオン (NO_3^-) の形で吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収される。尚、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収された硝酸イオン (NO_3^-) は、酸化バリウム (BaO) と結合して硝酸バリウム ($\text{Ba}(\text{NO}_3)_2$) を形成する。

【0061】このように吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に流入する排気空燃比がリーン空燃比であるときは、排気中の窒素酸化物 (NOx) が硝酸イオン (NO_3^-) として吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収される。

【0062】上記したような NOx 吸収作用は、流入排気空燃比がリーン空燃比であり、且つ吸蔵還元型 NOx 触媒 20 の NOx 吸収能力が飽和しない限り継続される。従って、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に流入する排気空燃比がリーン空燃比であるときは、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 の NOx 吸収能力が飽和しない限り、排気中の窒素酸化物 (NOx) が吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収され、排気中から窒素酸化物 (NOx) が除去されることになる。

【0063】これに対して、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 では、該吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に流入する排気酸素濃度が低下すると、白金 (Pt) の表面上において二酸化窒素 (NO_2) の生成量が減少するため、酸化バリウム (BaO) と結合していた硝酸イオン (NO_3^-) が逆に二酸化窒素 (NO_2) や一酸化窒素 (NO) となって吸蔵還元型 NOx 触媒 20 から離脱する。

【0064】その際、排気中に炭化水素 (HC) や一酸化炭素 (CO) 等の還元成分が存在していれば、それらの還元成分が白金 (Pt) 上の酸素 (O_2 または O^{2-}) と部分的に反応して活性種を形成する。この活性種は、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 から放出された二酸化窒素 (NO_2) や一酸化窒素 (NO) を窒素 (N_2) に還元せしめることになる。

【0065】従って、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に流入する排気空燃比が理論空燃比又はリッチ空燃比となるとともに還元剤の濃度が高まると、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収されていた窒素酸化物 (NOx) が放出及び還元され、以て吸蔵還元型 NOx 触媒 20 の NOx 吸収能力が再生されることになる。

【0066】ところで、内燃機関 1 が希薄燃焼運転されている場合は、内燃機関 1 から排出される排気空燃比がリーン雰囲気となり排気酸素濃度が高くなるため、排気中に含まれる窒素酸化物 (NOx) が吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収されることになるが、内燃機関 1 の希薄燃焼運転が長期間継続されると、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 の NOx 吸収能力が飽和し、排気中の窒素酸化物 (NOx) が吸蔵還元型 NOx 触媒 20 にて除去されず

に大気中へ放出されてしまう。

【0067】特に、内燃機関 1 のようなディーゼル機関では、大部分の運転領域においてリーン空燃比の混合気が燃焼され、それに応じて大部分の運転領域において排気空燃比がリーン空燃比となるため、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 の NOx 吸収能力が飽和し易い。

【0068】従って、内燃機関 1 が希薄燃焼運転されている場合は、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 の NOx 吸収能力が飽和する前に吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に流入する排気中の酸素濃度を低下させるとともに還元剤の濃度を高め、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に吸収された窒素酸化物 (NOx) を放出及び還元させる必要がある。

【0069】これに対し、本実施の形態に係る内燃機関の排気浄化装置は、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 より上流の排気通路を流れる排気中に還元剤たる燃料 (軽油) を添加する還元剤供給機構を備え、この還元剤供給機構から排気中へ燃料を添加することにより、吸蔵還元型 NOx 触媒 20 に流入する排気酸素濃度を低下させるとともに還元剤の濃度を高めるようにした。

【0070】還元剤供給機構は、図 1 に示されるように、その噴孔が排気枝管 18 内に臨むよう内燃機関 1 のシリンダヘッドに取り付けられ、所定の開弁圧以上の燃料が印加されたときに開弁して燃料を噴射する還元剤噴射弁 28 と、前述した燃料ポンプ 6 から吐出された燃料を前記還元剤噴射弁 28 へ導く還元剤供給路 29 と、この還元剤供給路 29 の途中に設けられ該還元剤供給通路 29 内を流れる燃料の流量を調整する流量調整弁 30 と、この流量調整弁 30 より上流の還元剤供給路 29 に設けられて該還元剤供給路 29 内の燃料の流れを遮断する遮断弁 31 と、前記流量調整弁 30 より上流の還元剤供給路 29 に取り付けられ該還元剤供給路 29 内の圧力に対応した電気信号を出力する還元剤圧力センサ 32 と、を備えている。

【0071】尚、還元剤噴射弁 28 は、該還元剤噴射弁 28 の噴孔が排気枝管 18 における EGR 通路 25 との接続部位より下流であって、排気枝管 18 における 4 つの枝管の集合部に最も近い気筒 2 の排気ポートに突出するとともに、排気枝管 18 の集合部へ向かうシリンダヘッドに取り付けられることが好ましい。

【0072】これは、還元剤噴射弁 28 から噴射された還元剤 (未燃の燃料成分) が EGR 通路 25 へ流入し EGR クーラ目詰まりの原因になったり、吸気と混合し空燃比が小さくなるのを防止するとともに、還元剤が排気枝管 18 内に滞ることなく遠心過給機のタービンハウジング 15b へ到達するようにするためである。

【0073】尚、図 1 に示す例では、内燃機関 1 の 4 つの気筒 2 のうち 1 番 (#1) 気筒 2 が排気枝管 18 の集合部と最も近い位置にあるため、1 番 (#1) 気筒 2 の排気ポートに還元剤噴射弁 28 が取り付けられているが、1 番 (#1) 気筒 2 以外の気筒 2 が排気枝管 18 の

11

集合部と最も近い位置にあるときは、その気筒2の排気ポートに還元剤噴射弁28が取り付けられるようにする。

【0074】また、前記還元剤噴射弁28は、シリンダヘッドに形成された図示しないウォータージャケットを貫通、あるいはウォータージャケットに近接して取り付けられるようにし、前記ウォータージャケットを流れる冷却水を利用して還元剤噴射弁28を冷却するようにしてもよい。

【0075】このような還元剤供給機構では、流量調整弁30が開弁されると、燃料ポンプ6から吐出された高圧の燃料が還元剤供給路29を介して還元剤噴射弁28へ印加される。そして、還元剤噴射弁28に印加される燃料の圧力が開弁圧以上に達すると、該還元剤噴射弁28が開弁して排気枝管18内へ還元剤としての燃料が噴射される。

【0076】還元剤噴射弁28から排気枝管18内へ噴射された還元剤は、排気枝管18の上流から流れてきた排気とともにタービンハウジング15bへ流入する。タービンハウジング15b内に流入した排気と還元剤とは、タービンホイールの回転によって攪拌されて均質に混合され、リッチ空燃比の排気を形成する。

【0077】このようにして形成されたリッチ空燃比の排気は、タービンハウジング15bから排気管19を介して吸蔵還元型NOx触媒20に流入し、吸蔵還元型NOx触媒20に吸収されていた窒素酸化物(NOx)を放出させつつ窒素(N₂)に還元することになる。

【0078】その後、流量調整弁30が閉弁されて燃料ポンプ6から還元剤噴射弁28への還元剤の供給が遮断されると、還元剤噴射弁28に印加される燃料の圧力が前記開弁圧未満となり、その結果、還元剤噴射弁28が閉弁し、排気枝管18内への還元剤の添加が停止されることになる。

【0079】以上述べたように構成された内燃機関1には、該内燃機関1を制御するための電子制御ユニット(ECU: Electronic Control Unit)35が併設されている。このECU35は、内燃機関1の運転条件や運転者の要求に応じて内燃機関1の運転状態を制御するユニットである。

【0080】ECU35には、コモンレール圧センサ4a、エアフローメータ11、吸気温度センサ12、吸気管圧力センサ17、空燃比センサ23、排気温度センサ24、還元剤圧力センサ32、クランクポジションセンサ33、水温センサ34、アクセル開度センサ36、EGR開度センサ38、EGRガス温度センサ37等の各種センサが電気配線を介して接続され、上記した各種センサの出力信号がECU35に入力されるようになってい

る。

【0081】一方、ECU35には、燃料噴射弁3、吸気絞り用アクチュエータ14、排気絞り用アクチュエー

12

タ22、EGR弁26、流量調整弁30、遮断弁31等が電気配線を介して接続され、上記した各部をECU35が制御することが可能になっている。

【0082】ここで、ECU35は、図3に示すように、双方向性バス350によって相互に接続された、CPU351と、ROM352と、RAM353と、バックアップRAM354と、入力ポート356と、出力ポート357とを備えるとともに、前記入力ポート356に接続されたA/Dコンバータ(A/D)355を備えている。

【0083】前記入力ポート356は、クランクポジションセンサ33のようにデジタル信号形式の信号を出力するセンサの出力信号を入力し、それらの出力信号をCPU351やRAM353へ送信する。

【0084】前記入力ポート356は、コモンレール圧センサ4a、エアフローメータ11、吸気温度センサ12、吸気管圧力センサ17、空燃比センサ23、排気温度センサ24、還元剤圧力センサ32、水温センサ34、アクセル開度センサ36、EGR開度センサ38、EGRガス温度センサ37等のように、アナログ信号形式の信号を出力するセンサのA/D355を介して入力し、それらの出力信号をCPU351やRAM353へ送信する。

【0085】前記出力ポート357は、燃料噴射弁3、吸気絞り用アクチュエータ14、排気絞り用アクチュエータ22、EGR弁26、流量調整弁30、遮断弁31等と電気配線を介して接続され、CPU351から出力される制御信号を、前記した燃料噴射弁3、吸気絞り用アクチュエータ14、排気絞り用アクチュエータ22、EGR弁26、流量調整弁30、あるいは遮断弁31へ送信する。

【0086】前記ROM352は、燃料噴射弁3を制御するための燃料噴射制御ルーチン、吸気絞り弁13を制御するための吸気絞り制御ルーチン、排気絞り弁21を制御するための排気絞り制御ルーチン、EGR弁26を制御するためのEGR制御ルーチン、吸蔵還元型NOx触媒20に吸収された窒素酸化物(NOx)を浄化するためのNOx浄化制御ルーチン、吸蔵還元型NOx触媒20の酸化物による被毒を解消するための被毒解消制御ルーチン等のアプリケーションプログラムを記憶している。

【0087】前記ROM352は、上記したアプリケーションプログラムに加え、各種の制御マップを記憶している。前記制御マップは、例えば、内燃機関1の運転状態と基本燃料噴射量(基本燃料噴射時間)との関係を示す燃料噴射量制御マップ、内燃機関1の運転状態と基本燃料噴射時期との関係を示す燃料噴射時期制御マップ、内燃機関1の運転状態と吸気絞り弁13の目標開度との関係を示す吸気絞り弁開度制御マップ、EGRクーラ27の冷却効率と吸入新気量との関係を示す吸入新気量補

10

20

30

40

50

正マップ、内燃機関1の運転状態と排気絞り弁21の目標開度との関係を示す排気絞り弁開度制御マップ、内燃機関1の運転状態とEGR弁26の目標開度との関係を示すEGR弁開度制御マップ、EGRクーラ27の冷却効率と必要EGR量との関係を示すEGRガス量補正マップ、EGRガス温度とEGRクーラ27の冷却効率との関係を示すEGRクーラ効率推定マップ、内燃機関1の運転状態と還元剤の目標添加量（もしくは、排気目標空燃比）との関係を示す還元剤添加量制御マップ、還元剤の目標添加量と流量調整弁30の開弁時間との関係を示す流量調整弁制御マップ等である。

【0088】前記RAM353は、各センサからの出力信号やCPU351の演算結果等を格納する。前記演算結果は、例えば、クランクポジションセンサ33がパルス信号を出力する時間的な間隔に基づいて算出される機関回転数である。これらのデータは、クランクポジションセンサ33がパルス信号を出力する都度、最新のデータに書き換えられる。

【0089】前記バックアップRAM354は、内燃機関1の運転停止後もデータを記憶可能な不揮発性のメモリである。

【0090】前記CPU351は、前記ROM352に記憶されたアプリケーションプログラムに従って動作して、燃料噴射弁制御、吸気絞り制御、排気絞り制御、EGR制御、NOx浄化制御、被毒解消制御、EGRクーラ冷却効率推定制御を実行する。

【0091】例えば、燃料噴射弁制御では、CPU351は、まず、燃料噴射弁3から噴射される燃料量を決定し、次いで燃料噴射弁3から燃料を噴射する時期を決定する。

【0092】燃料噴射量を決定する場合は、CPU351は、RAM353に記憶されている機関回転数とアクセル開度センサ36の出力信号（アクセル開度）とを読み出す。CPU351は、燃料噴射量制御マップへアクセスし、前記機関回転数及び前記アクセル開度に対応した基本燃料燃料噴射量（基本燃料噴射時間）を算出する。CPU351は、エアフローメータ11、吸気温度センサ12、水温センサ34等の出力信号値等に基づいて前記基本燃料噴射時間を補正し、最終的な燃料噴射時間を決定する。

【0093】燃料噴射時期を決定する場合は、CPU351は、燃料噴射開始時期制御マップへアクセスし、前記機関回転数及び前記アクセル開度に対応した基本燃料噴射時期を算出する。CPU351は、エアフローメータ11、吸気温度センサ12、水温センサ34等の出力信号値をパラメータとして前記基本燃料噴射時期を補正し、最終的な燃料噴射時期を決定する。

【0094】燃料噴射時間と燃料噴射時期とが決定されると、CPU351は、前記燃料噴射時期とクランクポ

ジションセンサ33の出力信号が前記燃料噴射開始時期と一致した時点で燃料噴射弁3に対する駆動電力の印加を開始する。CPU351は、燃料噴射弁3に対する駆動電力の印加を開始した時点からの経過時間が前記燃料噴射時間に達した時点で燃料噴射弁3に対する駆動電力の印加を停止する。

【0095】尚、燃料噴射制御において内燃機関1の運転状態がアイドル運転状態にある場合は、CPU351は、水温センサ34の出力信号値や、車室内用空調装置のコンプレッサのようにクランクシャフトの回転力を利用して作動する補機類の作動状態等をパラメータとして内燃機関1の目標アイドル回転数を算出する。そして、CPU351は、実際のアイドル回転数が目標アイドル回転数と一致するよう燃料噴射量をフィードバック制御する。

【0096】また、吸気絞り制御では、CPU351は、例えば、RAM353に記憶されている機関回転数とアクセル開度とを読み出す。CPU351は、吸気絞り弁開度制御マップへアクセスし、機関回転数及びアクセル開度に対応した目標吸気絞り弁開度を算出する。CPU351は、前記目標吸気絞り弁開度に対応した駆動電力を吸気絞り用アクチュエータ14に印加する。その際、CPU351は、吸気絞り弁13の実際の開度を検出して、実際の吸気絞り弁13の開度と目標吸気絞り弁開度との差分に基づいて前記吸気絞り用アクチュエータ14をフィードバック制御するようにしてもよい。

【0097】また、排気絞り制御では、CPU351は、例えば、内燃機関1が冷間始動後の暖機運転状態にある場合や、車室内用ヒータが作動状態にある場合などに排気絞り弁21を閉弁方向へ駆動すべく排気絞り用アクチュエータ22を制御する。

【0098】この場合、内燃機関1の負荷が増大し、それに対応して燃料噴射量が増量されることとなる。その結果、内燃機関1の発熱量が増加し、内燃機関1の暖機が促進されるとともに、車室内用ヒータの熱源が確保される。

【0099】また、EGR制御では、CPU351は、RAM353に記憶されている機関回転数、水温センサ34の出力信号（冷却水温度）、アクセル開度センサ36の出力信号（アクセル開度）等を読み出し、EGR制御の実行条件が成立しているか否かを判別する。

【0100】上記したEGR制御実行条件としては、冷却水温度が所定温度以上にある、内燃機関1が始動時から所定時間以上連続して運転されている、アクセル開度の変化量が正值である等の条件を例示することができる。

【0101】上記したようなEGR制御実行条件が成立していると判定した場合は、CPU351は、機関回転数とアクセル開度とをパラメータとしてEGR弁開度制御マップへアクセスし、前記機関回転数及び前記アク

10

20

30

40

50

ル開度に対応した目標EGR弁開度を算出する。CPU351は、前記目標EGR弁開度に対応した駆動電力をEGR弁26に印加する。一方、上記したようなEGR制御実行条件が成立していないと判定した場合は、CPU351は、EGR弁26を全閉状態に保持すべく制御する。

【0102】次に、本実施の形態に係るEGR制御について説明する。

【0103】本実施の形態に係るEGR制御では、CPU351は、内燃機関1の吸入新気量をパラメータとしてEGR弁26の開度をフィードバック制御する、いわゆるEGR弁フィードバック制御を行う。

【0104】EGR弁フィードバック制御では、例えば、CPU351は、アクセル開度や機関回転数等をパラメータとして内燃機関1の目標吸入新気量を決定する。その際、アクセル開度と機関回転数と目標吸入新気量との関係を予めマップ化しておき、そのマップとアクセル開度と機関回転数とから目標吸入新気量が算出される。

【0105】ここで、EGRクーラに詰まりが発生した場合は、詰まりが発生していない場合に比してEGRクーラにおける熱交換効率が低下し、EGRガス温度が上昇するため、エミッションの要求からEGRクーラの冷却効率に合わせてEGRガス量及び吸入新気量を変化させなくてはならない。

【0106】即ち、EGRクーラの冷却効率が低下していると、気筒2に吸入されるEGRガスの冷却が不十分になり、気筒2の雰囲気温度が高くなるのでEGRガスの密度は小さくなる。これにより、エミッションの要求を満たすためには、より多くのEGRガスを気筒2へ供給しなくてはなくなる。このような関係は図5に示すように、機関負荷毎にEGRクーラ効率と必要EGRガス量との相関関係として示すことができる。

【0107】一方、EGRクーラの冷却効率が低いほど気筒2に吸入される新気の温度が上昇し充填効率が低下するので、気筒2へ吸入される新気量を増加させる。このような関係は、図6に示すように、機関負荷毎にEGRクーラ効率と吸入新気量との相関関係として示すことができる。

【0108】エミッションの悪化を防止するためには、EGRガス量及び吸入新気量を補正しその時の運転状態に見合った適正なEGRガス量と吸入新気量を気筒2に吸入させる必要がある。この補正方法を以下に示す。

【0109】所定の運転状態においては、排気の温度と新品状態のEGRクーラ27を通過した後のEGRガスの温度とは、その運転状態に応じた一定の温度となるため、新品状態のEGRクーラ27を通過した後のEGRガスの温度とEGRクーラ27を通過する前のEGRガスの温度とを予め実験で求めておけば、図4に示すようなEGRガス温度とEGRクーラ27の冷却効率との関

係を導くことができる。

【0110】この関係をEGRクーラ効率推定マップとしてROM352に予め記憶させておけば、EGRガス温度センサ37の出力信号から得られたEGRクーラ27通過後のEGRガスの温度をパラメータとしてEGRクーラ27の効率が推定される。

【0111】また、図5により、現時点でのEGRクーラ冷却効率から必要なEGRガス量を算出することができる。この算出された必要なEGRガス量は、RAM353に記憶される。この必要なEGRガス量が得られるEGR弁26及び吸気絞り弁13の開弁変化量を予め実験により求めてマップ化しROM352に記憶させておけば、必要なEGRガス量に基づいてEGR弁26及び吸気絞り弁13の開弁補正量を算出することができる。

【0112】CPU351は、前記算出された開弁補正量に基づいてEGR弁26及び吸気絞り弁13の開弁量を変更しEGRガス量及び吸入新気量を補正することができる。

【0113】一方、図6により、現時点でのEGRクーラ冷却効率から吸入新気量を算出することができる。この算出された吸入新気量は、RAM353に記憶される。同時に算出された吸入新気量は補正目標吸入新気量としてRAM353に記憶される。

【0114】上記した手順により補正目標吸入新気量が決定されると、CPU351は、RAM353に記憶されたエアフローメータ11の出力信号値（実際の吸入新気量）を読み出し、実際の吸入新気量と補正目標吸入新気量とを比較する。

【0115】前記した実際の吸入新気量が補正目標吸入新気量より少ない場合には、CPU351は、EGR弁26を所定量閉弁させ、吸気絞り弁13を所定量開弁させる。この場合、EGR通路25から吸気枝管8へ流入するEGRガス量が減少し、それに応じて内燃機関1の気筒2内に吸入されるEGRガス量が減少することになる。その結果、内燃機関1の気筒2内に吸入される新気量は、EGRガスが減少した分だけ増加する。

【0116】一方、実際の吸入新気量が補正目標吸入新気量より多い場合には、CPU351は、EGR弁26を所定量開弁させ、吸気絞り弁13を所定量閉弁させる。この場合、EGR通路25から吸気枝管8へ流入するEGRガス量が増加し、それに応じて内燃機関1の気筒2内に吸入されるEGRガス量が増加する。この結果、内燃機関1の気筒2内に吸入される新気量は、EGRガスが増加した分だけ減少することになる。

【0117】以上のようにEGRクーラ効率に基づいて吸入新気量の補正とEGRガス量の補正が可能となる。

【0118】このようにしてEGRクーラの冷却効率変化に対応した空燃比制御を行うことができ、排気エミッションの悪化を防止することができる。

【0119】

【発明の効果】本発明に係る内燃機関の排気浄化装置は、EGRガス温度からEGRクーラ効率を推定することができ、この推定されたEGRクーラ効率からEGRガス量、吸入新気量を補正することができる。

【0120】この結果、EGRガス量及び吸入新気量を適正化することができ、排気エミッションの悪化を抑制することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る内燃機関の排気浄化装置を適用する内燃機関とその吸排気系の概略構成を示す図

【図2】 (A) 吸蔵還元型NOx触媒のNOx吸収メカニズムを説明する図

(B) 吸蔵還元型NOx触媒のNOx放出メカニズムを説明する図

【図3】 ECUの内部構成を示すブロック図

【図4】 EGRガス温度とEGRクーラ効率との関係を示す図

【図5】 EGRクーラ効率と必要EGRガス量との関係を示す図

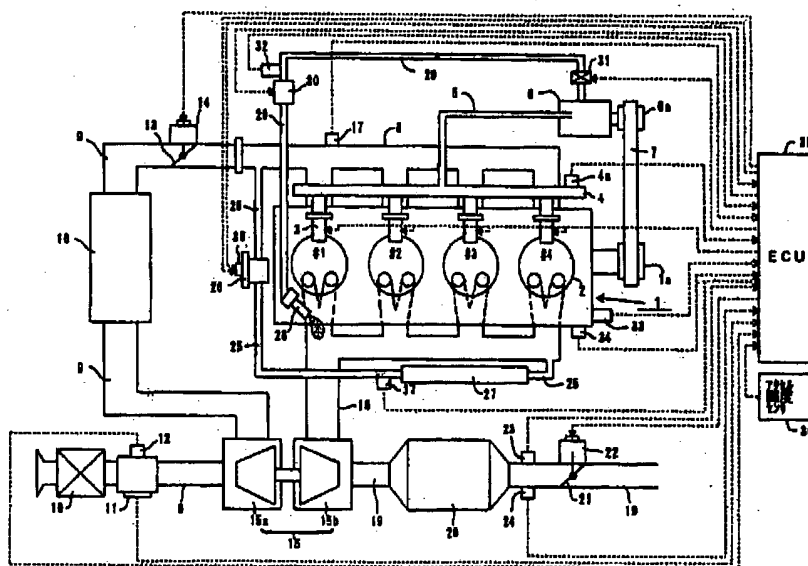
【図6】 EGRクーラ効率と吸入新気量との関係を示す図

【符号の説明】

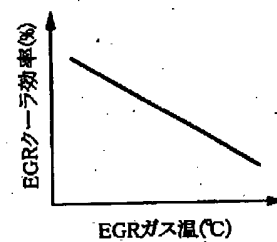
- 1・・・内燃機関
2・・・気筒
3・・・燃料噴射弁

- 4・・・コモンレール
5・・・燃料供給管
6・・・燃料ポンプ
18・・・排気枝管
19・・・排気管
20・・・吸蔵還元型NOx触媒
21・・・排気絞り弁
23・・・空燃比センサ
25・・・EGR通路
26・・・EGR弁
27・・・EGRクーラ
28・・・還元剤噴射弁
29・・・還元剤供給路
30・・・流量調整弁
31・・・遮断弁
32・・・還元剤圧力センサ
33・・・クランクポジションセンサ
34・・・水温センサ
35・・・ECU
351・・・CPU
352・・・ROM
353・・・RAM
354・・・バックアップRAM
37・・・EGRガス温度センサ
38・・・EGR開度センサ

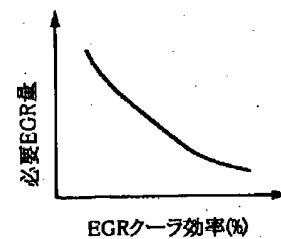
【図1】



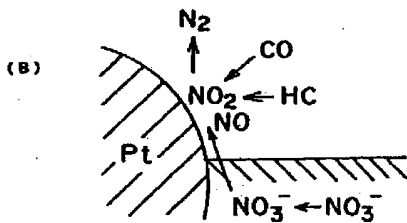
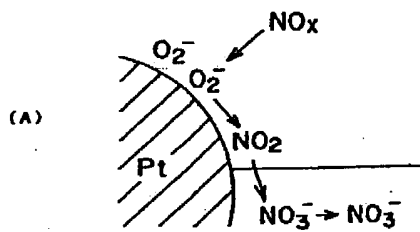
【図4】



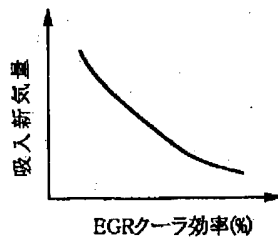
【図5】



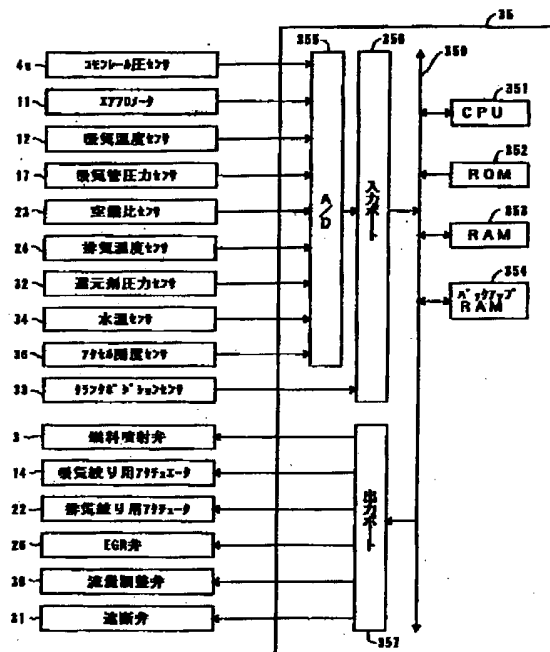
【図2】



【図6】



【図3】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
F 0 2 D 41/02	3 3 0	F 0 2 D 41/02	3 3 0 E
43/00	3 0 1	43/00	3 0 1 H
			3 0 1 N
			3 0 1 K
F 0 2 M 25/07	5 7 0	F 0 2 M 25/07	5 7 0 J
	5 8 0		5 8 0 E

(72)発明者 大木 久
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

(72)発明者 林 孝太郎
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

- (72)発明者 石山 忍
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 曲田 尚史
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 小林 正明
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 小田 富久
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 原田 泰生
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 根上 秋彦
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 松岡 広樹
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 大坪 康彦
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

- (72)発明者 青山 太郎
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- (72)発明者 田原 淳
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内
- Fターム(参考) 3G062 AA01 AA05 BA04 BA06 DA01
EA10 ED08 FA00 FA02 FA13
GA01 GA04 GA06 GA08 GA10
3G084 AA01 AA03 BA04 BA05 BA13
BA19 BA20 BA24 CA02 CA05
DA10 EB11 FA02 FA07 FA10
FA11 FA20 FA27 FA29 FA37
FA38
3G092 AA02 AA17 AA18 BA01 BB01
BB06 DC03 DC09 DC12 DC15
DE02S DE03S DG07 EA01
EC01 FA17 FA36 HA01X
HA01Z HA04Z HA05Z HA06X
HA06Z HB01X HB03Z HD01Z
HD05Z HD07X HD07Z HD09X
HE01Z HE03Z HE08Z HF08Z
3G301 HA02 HA11 HA13 JA21 LA03
LB11 LC04 MA11 MA18 MA23
NC02 ND01 PA01Z PA07Z
PA10Z PA11Z PB03A PB03Z
PB05A PB05Z PB08Z PD04A
PD04Z PD11Z PD15A PD15Z
PE03Z PE08Z PF03Z

PAT-NO: JP02002129996A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002129996 A

TITLE: EXHAUST EMISSION CONTROL DEVICE
FOR INTERNAL COMBUSTION
ENGINE

PUBN-DATE: May 9, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHIBATA, DAISUKE	N/A
MATSUSHITA, SOICHI	N/A
OKI, HISASHI	N/A
HAYASHI, KOTARO	N/A
ISHIYAMA, SHINOBU	N/A
MAGATA, HISAFUMI	N/A
KOBAYASHI, MASAACKI	N/A
ODA, TOMIHISA	N/A
HARADA, YASUO	N/A
NEGAMI, AKIHIKO	N/A
MATSUOKA, HIROKI	N/A
OTSUBO, YASUHIKO	N/A
AOYAMA, TARO	N/A
TAWARA, ATSUSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TOYOTA MOTOR CORP

N/A

APPL-NO: JP2000325624

APPL-DATE: October 25, 2000

INT-CL (IPC): F02D021/08, F02D041/02 , F02D043/00 ,
F02M025/07

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent deterioration of the exhaust emission from an internal combustion engine.

SOLUTION: This exhaust emission control device is provided with an operation condition-detecting means 36 for an internal combustion engine 1, an EGR gas temperature-measuring means 37, a means 35 for estimating the cooling efficiency of an EGR cooler 27 based on the operation condition and EGR gas temperature, a fuel injection amount-determining means 38 for determining the fuel amount to be supplied to the engine 1 including the air

amount taken in
the engine 1 and the EGR gas amount in a parameter, a means 14
for correcting
the fresh air amount to be taken in the engine 1 based on the
cooling
efficiency of EGR cooler, and a means 26 for correcting the EGR
gas amount of
the engine 1 based on the above cooling efficiency.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-129996

(43)Date of publication of application : 09.05.2002

(51)Int.Cl.

F02D 21/08

F02D 41/02

F02D 43/00

F02M 25/07

(21)Application number : 2000-325624

(22)Date of filing : 25.10.2000

(71)Applicant : TOYOTA MOTOR CORP

(72)Inventor : SHIBATA DAISUKE

MATSUSHITA SOICHI

OKI HISASHI

HAYASHI KOTARO

ISHIYAMA SHINOBU

MAGATA HISAFUMI

KOBAYASHI MASAOKI

ODA TOMIHISA

HARADA YASUO

NEGAMI AKIHIKO

MATSUOKA HIROKI

OTSUBO YASUHIKO

AOYAMA TARO

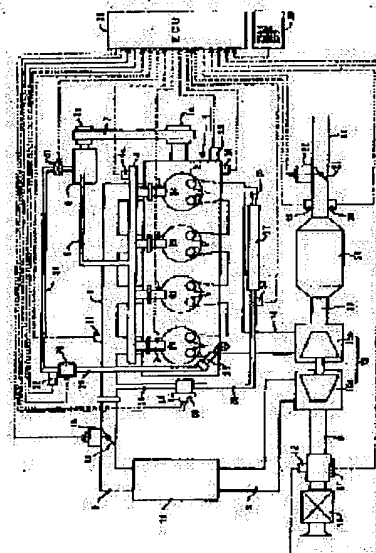
TAWARA ATSUSHI

(54) EXHAUST EMISSION CONTROL DEVICE FOR INTERNAL COMBUSTION ENGINE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent deterioration of the exhaust emission from an internal combustion engine.

SOLUTION: This exhaust emission control device is provided with an operation condition-detecting means 36 for an internal combustion engine 1, an EGR gas temperature-measuring means 37, a means 35 for estimating the cooling efficiency of an EGR cooler 27 based on the operation condition and EGR gas temperature, a fuel injection amount-determining means 38 for determining the fuel amount to be supplied to the engine 1 including the air amount taken in the engine 1 and the EGR gas amount in a parameter, a means 14 for correcting the fresh air amount to be taken in the engine 1 based on the cooling efficiency of EGR cooler, and a means 26 for correcting the EGR gas amount of the engine 1 based on the above cooling efficiency.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] In the exhaust emission control device of the internal combustion engine possessing the EGR equipment which carries out the recirculation of a part of exhaust air to an internal combustion engine's inhalation-of-air system, and the EGR cooler which makes the EGR gas which recycles said EGR equipment cool An operational status detection means to detect said internal combustion engine's operational status, and an EGR gas thermometry means to measure the temperature of the EGR gas which recycles said EGR equipment, An EGR cooler cooling effectiveness presumption means to presume the cooling effectiveness of said EGR cooler based on the temperature of the EGR gas measured by the operational status detected by said operational status detection means, and said EGR gas thermometry means, An amount decision means of fuel main injection to determine the amount of the fuel which contains in a parameter the amount of the air inhaled by said internal combustion engine, and the amount of EGR gas, and is supplied to an internal combustion engine, An inhalation new-air-volume amendment means to amend the amount of the new air inhaled by the changing internal combustion engine based on the EGR cooler cooling effectiveness presumed by said EGR cooler cooling effectiveness presumption means with said EGR cooler cooling effectiveness, The exhaust emission control device of the internal combustion engine characterized by providing an amount amendment means of EGR gas to amend the amount of the EGR gas inhaled by the changing internal combustion engine based on the EGR cooler cooling effectiveness presumed by said EGR cooler cooling effectiveness presumption means with said EGR cooler cooling effectiveness.

[Claim 2] Said EGR cooler cooling effectiveness presumption means is the exhaust emission control device of the internal combustion engine according to claim 1 characterized by computing EGR cooling effectiveness based on a correlation with the EGR gas temperature after passing the cooling effectiveness of an EGR cooler and the EGR cooler which were called for beforehand.

[Translation done.]

* NOTICES *

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]

[Field of the Invention] This invention relates to the exhaust emission control device which purifies an internal combustion engine's exhaust air, especially an exhaust gas recirculation system.

[0002]

[Description of the Prior Art] In recent years, in the internal combustion engine carried in an automobile etc. especially the Diesel engine which enables combustion of the gaseous mixture (the so-called gaseous mixture of the Lean air-fuel ratio) of a hyperoxia condition, or the lean burn gasoline engine, a technique which purifies the nitrogen oxides (NOx) contained during this internal combustion engine's exhaust air is desired.

[0003] The technique which arranges the Lean NOx catalyst in an internal combustion engine's exhaust air system is proposed to such a demand. The occlusion reduction type NOx catalyst which returns to nitrogen (N₂) is known emitting the nitrogen oxides (NOx) which were being absorbed, when the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air are absorbed when the oxygen density of the flowing exhaust air is high as one of the Lean NOx catalysts, the oxygen density of the flowing exhaust air falls and a reducing agent exists.

[0004] It is returned to nitrogen (N₂), the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst being emitted when the air-fuel ratio of exhaust air which the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air are absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst, and flows into an occlusion reduction type NOx catalyst becomes low when lean combustion operation of the internal combustion engine is carried out and the air-fuel ratio of exhaust air becomes high, if an occlusion reduction type NOx catalyst is arranged at an internal combustion engine's exhaust air system.

[0005] By the way, since there is a limitation in the NOx absorptance of an occlusion reduction type NOx catalyst, if lean combustion operation of the internal combustion engine is carried out over a long period of time, the NOx absorptance of an occlusion reduction type NOx catalyst is saturated, and it will be emitted into atmospheric air, without removing the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air according to an occlusion reduction type NOx catalyst.

[0006] Therefore, before the NOx absorptance of an occlusion reduction type NOx catalyst is saturated, it is necessary to make the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst emit and return by performing the so-called rich spike control to which the air-fuel ratio of the exhaust air which flows into this occlusion reduction type NOx catalyst is reduced, when applying an occlusion reduction type NOx catalyst to a lean combustion type internal combustion engine.

[0007] The approach of adding a reducing-agent slack fuel as the concrete approach of rich spike control during the exhaust air which flows the upstream from an occlusion reduction type NOx catalyst can be illustrated.

[0008] In addition, when adding a reducing agent during upstream exhaust air from an occlusion reduction type NOx catalyst, it is also important to control the addition of a reducing agent to accuracy according to the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst.

[0009] When the addition of a reducing agent is superfluously made [many] to the nitrogen oxides (NOx) with which this is absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst, an excessive reducing agent will be emitted into atmospheric air. It is because it will be emitted into atmospheric air, without saturating the NOx absorptance of an occlusion reduction type NOx catalyst, and purifying the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air when the additions of a reducing agent run short to the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst.

[0010] By the former, an internal combustion engine's exhaust emission control device which was indicated by the patent No. 2845056 official report is proposed to such a problem. An internal combustion engine's exhaust emission control device indicated by this official report The amount of the reducing agent which is needed in order to return the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the amount of the reducing agent which reacts with the oxygen under exhaust air and is consumed in an occlusion reduction type NOx catalyst, and the occlusion reduction type NOx catalyst is taken into consideration. By determining the addition of a reducing agent, it is going to control aggravation of the exhaust air emission according the overage and short supply of a reducing agent to prevention, with bleedoff into the atmospheric air of a reducing agent or nitrogen oxides (NOx).

[0011] Moreover, the method of using the exhaust-gas-recirculation (EGR:Exhaust Gas Recirculation) equipment to which the recirculation of a part of exhaust air which flows an internal combustion engine's flueway is carried out to this internal combustion engine's inhalation-of-air path as an approach of reducing the amount of the nitrogen oxides (NOx) discharged by the internal combustion engine is proposed.

[0012] EGR equipment reduces the amount of the nitrogen oxides (NOx) which the rate of combustion and combustion

temperature of gaseous mixture in an internal combustion engine's combustion chamber are reduced, with are generated at the time of combustion using the incombustibility which inert gas components, such as a steam (H₂O) contained during exhaust air, a carbon monoxide (CO), and a carbon dioxide (CO₂), have, and endoergic nature.

[0013] In addition, equipments of various configurations, such as the equipment which consists of EGR valves which adjust the flow rate of the exhaust air (EGR gas) which flows the inside of the EGR path which opens an internal combustion engine's flueway and inhalation-of-air path for free passage, and an EGR path as EGR equipment which was described above, and equipment which are constituted by preparing the EGR cooler for cooling EGR gas in addition to an EGR path and an EGR valve in the middle of an EGR path, are proposed.

[0014]

[Problem(s) to be Solved by the Invention] By the way, with the EGR equipment of the diesel power plant which performs rich spike control which was indicated by the official report mentioned above, when a NO_x reduction catalyst is in a non-active state, SOF (Soluble Organic Function) components contained in EGR gas, such as soot and unburnt hydrocarbon (HC), will flow into an EGR cooler, without being consumed by the NO_x reduction catalyst. When such an event is repeated, there is a possibility that a SOF component may deposit on an EGR cooler and the blinding of an EGR cooler may occur.

[0015] Furthermore, with the EGR equipment of the above mentioned diesel power plant, since it does not have a means to detect the blinding of an EGR cooler or an EGR path, there is a case where it becomes difficult to carry out the recirculation of the EGR gas of the amount of requests to an inhalation-of-air path when the blinding of an EGR cooler or an EGR path occurs actually, consequently it becomes impossible to fully reduce the yield of the nitrogen oxides (NO_x) in an internal combustion engine.

[0016] This invention is made in view of various problems which were described above, and aims at contributing to aggravation prevention of an internal combustion engine's exhaust air emission.

[0017]

[Means for Solving the Problem] The following means were used for this invention in order to solve the above-mentioned technical problem.

[0018] Namely, the exhaust emission control device of the internal combustion engine concerning this invention In the exhaust emission control device of the internal combustion engine possessing the EGR equipment which carries out the recirculation of a part of exhaust air to an internal combustion engine's inhalation-of-air system, and the EGR cooler which makes the EGR gas which recycles said EGR equipment cool An operational status detection means to detect said internal combustion engine's operational status, and an EGR gas thermometry means to measure the temperature of the EGR gas which recycles said EGR equipment, An EGR cooler cooling effectiveness presumption means to presume the cooling effectiveness of said EGR cooler based on the temperature of the EGR gas measured by the operational status detected by said operational status detection means, and said EGR gas thermometry means, An amount decision means of fuel main injection to determine the amount of the fuel which contains in a parameter the amount of the air inhaled by said internal combustion engine, and the amount of EGR gas, and is supplied to an internal combustion engine, An inhalation new-air-volume amendment means to amend the amount of the new mind inhaled by the changing internal combustion engine based on the EGR cooler cooling effectiveness presumed by said EGR cooler cooling effectiveness presumption means with said EGR cooler cooling effectiveness, An amount amendment means of EGR gas to amend the amount of the EGR gas inhaled by the changing internal combustion engine based on the EGR cooler cooling effectiveness presumed by said EGR cooler cooling effectiveness presumption means with said EGR cooler cooling effectiveness was provided.

[0019] Said EGR cooler cooling effectiveness presumption means can compute EGR cooling effectiveness based on a correlation with the EGR gas temperature after passing the cooling effectiveness of an EGR cooler and the EGR cooler which were called for beforehand.

[0020] Thus, in an internal combustion engine's constituted exhaust emission control device, a part of exhaust air discharged by the internal combustion engine is recycled in an inhalation-of-air system, and a recirculating gas (EGR gas) is inhaled with new mind in a combustion chamber. EGR gas serves not to burn oneself and to reduce combustion temperature, with the yield of nitrogen oxides (NO_x) is controlled.

[0021] An EGR cooler performs heat exchange between EGR gas and a refrigerant, and cools EGR gas. While it will be lost that the ambient temperature of this combustion chamber rises unnecessarily when EGR gas is supplied to a combustion chamber since the volume of EGR gas is reduced if EGR gas is cooled, the amount of the new mind supplied to a combustion chamber does not decrease unnecessarily.

[0022] However, when plugging occurs in an EGR cooler, as compared with the case where plugging has not occurred, the heat exchange effectiveness in an EGR cooler falls.

[0023] On the other hand, the temperature of EGR gas after passing the EGR cooler of the typical condition (for example, new article condition) in predetermined operational status turns into fixed temperature according to the operational status.

[0024] Then, if the temperature of EGR gas before passing the temperature and the EGR cooler of EGR gas after passing the EGR cooler in the typical condition of being under a certain service condition is beforehand searched for in the experiment, the relation between EGR gas temperature and the effectiveness of an EGR cooler can be drawn.

[0025] An EGR cooler cooling effectiveness presumption means can presume the effectiveness of an EGR cooler using this relation by making temperature of exhaust air after EGR cooler passage into a parameter.

[0026] Said inhalation new-air-volume amendment means and said amount amendment means of EGR gas can illustrate an inhalation-of-air throttle valve and an EGR control valve, and its control unit, can change the rate of valve opening based on the cooling effectiveness of an EGR cooler, and can amend the new air volume and the amount of EGR gas which are inhaled in an internal combustion engine's combustion chamber.

[0027] As the above-mentioned EGR cooler, the cooler of the air cooling which performs heat exchange between atmospheric air and EGR gas, and the cooler of the water cooling type which performs heat exchange between predetermined cooling water and EGR gas can be illustrated. The cooling water for internal combustion engines is sufficient as predetermined cooling water, and it may be cooling water of the dedication for cooling only EGR gas.

[0028]

[Embodiment of the Invention] Hereafter, the concrete embodiment of the exhaust emission control device of the internal combustion engine concerning this invention is explained based on a drawing. Here, the case where the exhaust emission control device concerning this invention is applied to the Diesel engine for car actuation is mentioned as an example, and is explained.

[0029] Drawing 1 is drawing showing the outline configuration of the internal combustion engine which applies the exhaust emission control device concerning this invention, and its pumping system.

[0030] The internal combustion engine 1 which shows drawing 1 is 4 stroke Diesel engine of a water cooling type which has four cylinders 2.

[0031] The internal combustion engine 1 equips the combustion chamber of each cylinder 2 with the fuel injection valve 3 which injects a direct fuel. Each fuel injection valve 3 is connected with the accumulator (common rail) 4 which accumulates a fuel to place constant pressure. Common-rail-pressure sensor 4a which outputs the electrical signal corresponding to the pressure of the fuel in this common rail 4 is attached in this common rail 4.

[0032] Said common rail 4 is open for free passage with the fuel pump 6 through a fuel feeding pipe 5. This fuel pump 6 is a pump which operates considering the running torque of an internal combustion engine's 1 output shaft (crankshaft) as a driving source, and the pump pulley 6 attached in the input shaft of this fuel pump 6 is connected through crank-pulley 1a and the belt 7 which were attached in an internal combustion engine's 1 output shaft (crankshaft).

[0033] Thus, in the constituted fuel-injection system, if the running torque of a crankshaft is transmitted to the input shaft of a fuel pump 6, a fuel pump 6 will carry out the regurgitation of the fuel by the pressure according to the running torque transmitted to the input shaft of this fuel pump 6 from the crankshaft.

[0034] The fuel breathed out from said fuel pump 6 is supplied to a common rail 4 through a fuel feeding pipe 5, and pressure accumulation is carried out to place constant pressure with a common rail 4, and it is distributed to the fuel injection valve 3 of each cylinder 2. And if an actuation current is impressed to a fuel injection valve 3, a fuel injection valve 3 will open, consequently a fuel will be injected into a cylinder 2 from a fuel injection valve 3.

[0035] Next, the inhalation-of-air branch pipe 8 is connected to the internal combustion engine 1, and each branch pipe of the inhalation-of-air branch pipe 8 is open for free passage through the combustion chamber of each cylinder 2, and the inlet port which is not illustrated.

[0036] Said inhalation-of-air branch pipe 8 is connected to an inlet pipe 9, and this inlet pipe 9 is connected to the air cleaner box 10. The air flow meter 11 which outputs the electrical signal corresponding to the mass of the inhalation of air which flows the inside of this inlet pipe 9 to the down-stream inlet pipe 9, and the intake-air-temperature sensor 12 which outputs the electrical signal corresponding to the temperature of the inhalation of air which flows the inside of this inlet pipe 9 are attached from said air cleaner box 10.

[0037] The inhalation-of-air throttle valve 13 which adjusts the flow rate of the inhalation of air which flows the inside of this inlet pipe 9 is formed in the part in which it is located in the style of [of the inhalation-of-air branch pipe 8 in said inlet pipe 9] right above. The actuator 14 for inhalation-of-air drawing which consists of stepper motors etc. and carries out closing motion actuation of this inhalation-of-air throttle valve 13 is attached in this inhalation-of-air throttle valve 13.

[0038] Compressor housing 15a of the centrifugal supercharger (turbocharger) 15 which operates considering the heat energy of exhaust air as a driving source is prepared in the inlet pipe 9 located between said air flow meters 11 and said inhalation-of-air throttle valves 13, and the intercooler 16 for cooling the inhalation of air which was compressed into the down-stream inlet pipe 9 within said compressor housing 15a, and became an elevated temperature from compressor housing 15a is formed in it.

[0039] Thus, by the constituted inhalation-of-air system, the inhalation of air which flowed into the air cleaner box 10 flows into compressor housing 15a through an inlet pipe 9, after dust, dust, etc. under inhalation of air are removed by the air cleaner which is not illustrated in this air cleaner box 10.

[0040] The inhalation of air which flowed into compressor housing 15a is compressed by the revolution of a compressor wheel by which the inner package was carried out to this compressor housing 15a. After being cooled by the intercooler 16, if needed, by the inhalation-of-air throttle valve 13, the inhalation of air which was compressed within said compressor housing 15a, and became an elevated temperature has a flow rate adjusted, and flows into the inhalation-of-air branch pipe 8. The inhalation of air which flowed into the inhalation-of-air branch pipe 8 is distributed to the combustion chamber of each cylinder 2 through each branch pipe, and burns considering the fuel injected from the fuel injection valve 3 of each cylinder 2 as an ignition source.

[0041] On the other hand, the exhaust air branch pipe 18 is connected to an internal combustion engine 1, and it is open for free passage with the combustion chamber of each cylinder 2 through the exhaust port which each branch pipe of the exhaust air branch pipe 18 does not illustrate.

[0042] Said exhaust air branch pipe 18 is connected with turbine housing 15b of said centrifugal supercharger 15. Said turbine housing 15b is connected with an exhaust pipe 19, and this exhaust pipe 19 is connected to the muffler which is not illustrated on a lower stream of a river.

[0043] In the middle of said exhaust pipe 19, the exhaust air clarification catalyst 20 for purifying the harmful gas component under exhaust air is arranged. The air-fuel ratio sensor 23 which outputs the electrical signal corresponding to the air-fuel

ratio of the exhaust air which flows the inside of this exhaust pipe 19 to the down-stream exhaust pipe 19, and the exhaust-gas-temperature sensor 24 which outputs the electrical signal corresponding to the temperature of the exhaust air which flows the inside of this exhaust pipe 19 are attached from the exhaust air clarification catalyst 20.

[0044] The exhaust air throttle valve 21 which adjusts the flow rate of the exhaust air which flows the inside of this exhaust pipe 19 is formed in the down-stream exhaust pipe 19 from the above mentioned air-fuel ratio sensor 23 and the above mentioned exhaust-gas-temperature sensor 24. The actuator 22 for exhaust air drawing which consists of stepper motors etc. and carries out closing motion actuation of this exhaust air throttle valve 21 is attached in this exhaust air throttle valve 21.

[0045] Thus, by the constituted exhaust air system, the gaseous mixture (burned gas) which burned in each cylinder 2 of an internal combustion engine 1 is discharged through an exhaust port to the exhaust air branch pipe 18, and, subsequently flows into turbine housing 15b of a centrifugal supercharger 15 from the exhaust air branch pipe 18. The exhaust air which flowed into turbine housing 15b rotates the turbine wheel supported free [a revolution] in turbine housing 15b using the heat energy which this exhaust air has. The running torque of a turbine wheel is transmitted to the compressor wheel of compressor housing 15a mentioned above in that case.

[0046] The exhaust air discharged from said turbine housing 15b flows into the exhaust air clarification catalyst 20 through an exhaust pipe 19, and the harmful gas component under exhaust air is removed or purified. After the exhaust air removed or purified in the harmful gas component with the exhaust air clarification catalyst 20 has a flow rate adjusted by the exhaust air throttle valve 21 if needed, it is emitted into atmospheric air through a muffler.

[0047] Moreover, the exhaust air branch pipe 18 and the inhalation-of-air branch pipe 8 are opened for free passage through the exhaust-gas-recirculation path (EGR path) 25 which carries out the recirculation of a part of exhaust air which flows the inside of the exhaust air branch pipe 18 to the inhalation-of-air branch pipe 8. In the middle of this EGR path 25, it consists of solenoid valves etc. and the flow control valve (EGR valve) 26 which changes the flow rate of the exhaust air (EGR gas is called hereafter) which flows the inside of said EGR path 25 according to the magnitude of impression power is formed.

[0048] The EGR opening sensor 38 which outputs the electrical signal corresponding to the opening of this EGR valve 26 is attached in said EGR valve 26. The sensor of the photo interrupter method equipped with the potentiometer equipped with the metal contact which is interlocked with the switching action of the EGR valve 26, and slides on a resistor top as this EGR opening sensor 38, for example, and the slot disk which is interlocked with the switching action of the EGR valve 26, and rotates and the photo interrupter which consists of LED and the photo transistor which have been arranged so that it may counter through a slot disk etc. can be illustrated.

[0049] At said EGR path 25, EGR cooler 27 which cools the EGR gas which flows the inside of this EGR path 25 is formed in the upstream part from the EGR valve 26.

[0050] Thus, by the constituted exhaust-gas-recirculation device, if the EGR valve 26 is opened, the EGR path 25 will be in switch-on, a part of exhaust air which flows the inside of the exhaust air branch pipe 18 will flow into said EGR path 25, and it will be led to the inhalation-of-air branch pipe 8 through EGR cooler 27.

[0051] In that case, by EGR cooler 27, heat exchange will be performed between the EGR gas which flows the inside of the EGR path 25, and a predetermined refrigerant, and EGR gas will be cooled.

[0052] It is led to the combustion chamber of each cylinder 2, the EGR gas which flowed back from the exhaust air branch pipe 18 to the inhalation-of-air branch pipe 8 through the EGR path 25 being mixed with new mind of having flowed from the upstream of the inhalation-of-air branch pipe 8, and burns considering the fuel injected from a fuel injection valve 3 as an ignition source.

[0053] since the inert gas component which oneself does not burn and has endoergic nature like water (H₂O) or a carbon dioxide (CO₂) is contained in EGR gas here -- EGR gas -- gaseous mixture -- if contained in inside, the combustion temperature of gaseous mixture can lower, with the yield of nitrogen oxides (NO_x) will be controlled.

[0054] Furthermore, while it is lost that the ambient temperature of this combustion chamber rises unnecessarily when EGR gas is supplied to a combustion chamber since the volume of EGR gas will be reduced while the temperature of EGR gas itself falls if EGR gas is cooled in EGR cooler 27, the amount (volume of new mind) of the new mind supplied to a combustion chamber does not decrease unnecessarily.

[0055] The exhaust air clarification catalyst 20 is a NO_x catalyst which purifies the nitrogen oxides (NO_x) under exhaust air under existence of a reducing agent. As such a NO_x catalyst, although a selection reduction type NO_x catalyst, an occlusion reduction type NO_x catalyst, etc. can be illustrated, an occlusion reduction type NO_x catalyst is mentioned as an example, and is explained here. Hereafter, the exhaust air clarification catalyst 20 shall be called the occlusion reduction type NO_x catalyst 20.

[0056] The occlusion reduction type NO_x catalyst 20 makes an alumina support. On the support Alkali metal, such as a potassium (K), sodium (Na), a lithium (Li), or caesium (Cs), At least one chosen from alkaline earths, such as barium (Ba) or calcium (calcium), and rare earth, such as a lanthanum (La) or an yttrium (Y), and noble metals, such as platinum (Pt), are supported, and it is constituted. In addition, the occlusion reduction type NO_x catalyst which consists of gestalten of this operation by supporting barium (Ba) and platinum (Pt) on the support which consists of an alumina is mentioned as an example, and is explained.

[0057] Thus, the constituted occlusion reduction type NO_x catalyst 20 absorbs the nitrogen oxides (NO_x) under exhaust air, when the oxygen density of the exhaust air which flows into this occlusion reduction type NO_x catalyst 20 is high.

[0058] On the other hand, the occlusion reduction type NO_x catalyst 20 emits the nitrogen oxides (NO_x) which were being absorbed, when the oxygen density of the exhaust air which flows into this occlusion reduction type NO_x catalyst 20 falls. If reduction components, such as a hydrocarbon (HC) and a carbon monoxide (CO), exist during exhaust air in that case, the occlusion reduction type NO_x catalyst 20 can make nitrogen (N₂) return the nitrogen oxides (NO_x) emitted from this

occlusion reduction type NOx catalyst 20.

[0059] In addition, although there is also a part which is not clarified about the NOx absorption/emission action of the occlusion reduction type NOx catalyst 20, it is thought that it is performed by the about following mechanisms.

[0060] First, in the occlusion reduction type NOx catalyst 20, if the air-fuel ratio of the exhaust air which flows into this occlusion reduction type NOx catalyst 20 turns into the Lean air-fuel ratio and the oxygen density under exhaust air increases, as shown in drawing 2 (A), the oxygen under exhaust air (O₂) will adhere on the front face of platinum (Pt) in the form of O₂- or O₂⁻. The nitrogen monoxide under exhaust air (NO) reacts with O₂- or O₂⁻ on the front face of platinum (Pt), and forms a nitrogen dioxide (NO₂) ($2\text{NO} + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{NO}_2$). A nitrogen dioxide (NO₂) oxidizes further on the front face of platinum (Pt), and is absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 in the form of nitrate ion (NO₃⁻). In addition, it combines with the barium oxide (BaO) and the nitrate ion (NO₃⁻) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 forms a barium nitrate (Ba₂(NO₃)).

[0061] Thus, when the air-fuel ratio of the exhaust air which flows into the occlusion reduction type NOx catalyst 20 is the Lean air-fuel ratio, the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air are absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 as nitrate ion (NO₃⁻).

[0062] The air-fuel ratio of inflow exhaust air is the Lean air-fuel ratio, and NOx absorption which was described above is continued unless the NOx absorptance of the occlusion reduction type NOx catalyst 20 is saturated. Therefore, when the air-fuel ratio of the exhaust air which flows into the occlusion reduction type NOx catalyst 20 is the Lean air-fuel ratio, unless the NOx absorptance of the occlusion reduction type NOx catalyst 20 is saturated, the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air will be absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20, and nitrogen oxides (NOx) will be removed out of exhaust air.

[0063] On the other hand, with the occlusion reduction type NOx catalyst 20, if the oxygen density of the exhaust air which flows into this occlusion reduction type NOx catalyst 20 falls, in order that the amount of generation of a nitrogen dioxide (NO₂) may decrease on the front face of platinum (Pt), the nitrate ion (NO₃⁻) combined with the barium oxide (BaO) becomes reverse with a nitrogen dioxide (NO₂) and a nitrogen monoxide (NO), and it secedes from the occlusion reduction type NOx catalyst 20.

[0064] If reduction components, such as a hydrocarbon (HC) and a carbon monoxide (CO), exist during exhaust air in that case, those reduction components will react selectively with the oxygen (O₂- or O₂⁻) on platinum (Pt), and will form active species. This active species makes nitrogen (N₂) return the nitrogen dioxide (NO₂) and nitrogen monoxide (NO) which were emitted from the occlusion reduction type NOx catalyst 20.

[0065] Therefore, while the air-fuel ratio of the exhaust air which flows into the occlusion reduction type NOx catalyst 20 turns into theoretical air fuel ratio or a rich air-fuel ratio and the oxygen density under exhaust air falls, when the concentration of a reducing agent increases, the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 will be emitted and returned, with the NOx absorptance of the occlusion reduction type NOx catalyst 20 will be reproduced.

[0066] By the way, although the nitrogen oxides (NOx) contained during exhaust air will be absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 since the air-fuel ratio of the exhaust air discharged by the internal combustion engine 1 serves as lean atmosphere and the oxygen density of exhaust air becomes high when lean combustion operation of the internal combustion engine 1 is carried out. If lean combustion operation of an internal combustion engine 1 is continued for a long period of time, the NOx absorptance of the occlusion reduction type NOx catalyst 20 will be saturated, and it will be emitted into atmospheric air, without removing the nitrogen oxides (NOx) under exhaust air with the occlusion reduction type NOx catalyst 20.

[0067] Since the gaseous mixture of the Lean air-fuel ratio burns in most operating range and the air-fuel ratio of exhaust air turns into the Lean air-fuel ratio in most operating range according to it, the NOx absorptance of the occlusion reduction type NOx catalyst 20 tends [especially] to be saturated with a Diesel engine like an internal combustion engine 1.

[0068] Therefore, when lean combustion operation of the internal combustion engine 1 is carried out, it is necessary to raise the concentration of a reducing agent, while reducing the oxygen density under exhaust air which flows into the occlusion reduction type NOx catalyst 20 before the NOx absorptance of the occlusion reduction type NOx catalyst 20 is saturated, and to make the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 emit and return.

[0069] On the other hand, by having the reducing-agent feeder style which adds a reducing-agent slack fuel (gas oil) during the exhaust air which flows an upstream flueway, and adding a fuel into exhaust air from this reducing-agent feeder style from the occlusion reduction type NOx catalyst 20, the exhaust emission control device of the internal combustion engine concerning the gestalt of this operation raised the concentration of a reducing agent while reducing the oxygen density of the exhaust air which flows into the occlusion reduction type NOx catalyst 20.

[0070] The reducing-agent injection valve 28 which a reducing-agent feeder style opens when it is attached in an internal combustion engine's 1 cylinder head so that the nozzle hole may face in the exhaust air branch pipe 18 and the fuel more than a predetermined injection-valve opening pressure is impressed, as shown in drawing 1, and injects a fuel. The reducing-agent supply way 29 which leads the fuel breathed out from the fuel pump 6 mentioned above to said reducing-agent injection valve 28, The flow control valve 30 which adjusts the flow rate of the fuel which is prepared in the middle of this reducing-agent supply way 29, and flows the inside of this reducing-agent supply path 29, The isolation valve 31 which is prepared in the upstream reducing-agent supply way 29, and intercepts the flow of the fuel in this reducing-agent supply way 29 from this flow control valve 30, It has the reducing-agent pressure sensor 32 which is attached in the upstream reducing-agent supply way 29 from said flow control valve 30, and outputs the electrical signal corresponding to the pressure in this reducing-agent supply way 29.

[0071] In addition, as for the reducing-agent injection valve 28, it is desirable that the nozzle hole of this reducing-agent injection valve 28 is attached in the cylinder head so that the set section of the exhaust air branch pipe 18 may be turned to at least from a connection with the EGR path 25 in the exhaust air branch pipe 18, while projecting in the exhaust port of the cylinder 2 nearest to [are a lower stream of a river and] the set section of four branch pipes in the exhaust air branch pipe 18.

[0072] This is for making it reach to turbine housing 15b of a centrifugal supercharger, without a reducing agent being overdue in the exhaust air branch pipe 18 while the reducing agent (fuel component of non-**) injected from the reducing-agent injection valve 28 flows into the EGR path 25, it becomes the cause of the blinding of an EGR cooler or it prevents that mix with inhalation of air and an air-fuel ratio becomes small.

[0073] In addition, although the reducing-agent injection valve 28 is attached in the exhaust port of the No. 1 (#1) cylinder 2 in the example shown in drawing 1 since the No. 1 (#1) cylinder 2 is in the set section of the exhaust air branch pipe 18, and the nearest location among four cylinders 2 of an internal combustion engine 1 When cylinders 2 other than No. 1 (#1) cylinder 2 are in the set section of the exhaust air branch pipe 18, and the nearest location, the reducing-agent injection valve 28 is attached in the exhaust port of the cylinder 2.

[0074] Moreover, said reducing-agent injection valve 28 approaches penetration or a water jacket, the water jacket which was formed in the cylinder head and which is not illustrated is attached, and you may make it cool the reducing-agent injection valve 28 using the cooling water which flows said water jacket.

[0075] At such reducing-agent feeder guard, valve opening of a flow control valve 30 impresses the high-pressure fuel breathed out from the fuel pump 6 through the reducing-agent supply way 29 to the reducing-agent injection valve 28. And if the pressure of the fuel impressed to the reducing-agent injection valve 28 reaches more than an injection-valve opening pressure, this reducing-agent injection valve 28 will open, and the fuel as a reducing agent will be injected into the exhaust air branch pipe 18.

[0076] the exhaust air with which the reducing agent injected into the exhaust air branch pipe 18 from the reducing-agent injection valve 28 has flowed from the upstream of the exhaust air branch pipe 18 -- ** -- it both flows into turbine housing 15b. It is agitated by the revolution of a turbine wheel, homogeneity is mixed, and the exhaust air and the reducing agent which flowed in turbine housing 15b form exhaust air of a rich air-fuel ratio.

[0077] Thus, exhaust air of the formed rich air-fuel ratio flows into the occlusion reduction type NOx catalyst 20 through an exhaust pipe 19 from turbine housing 15b, and it will be returned to nitrogen (N₂), making the nitrogen oxides (NOx) absorbed by the occlusion reduction type NOx catalyst 20 emit.

[0078] Then, when clausilium of the flow control valve 30 is carried out and supply of the reducing agent from the fuel pump 6 to the reducing-agent injection valve 28 is intercepted, the pressure of the fuel impressed to the reducing-agent injection valve 28 becomes said under injection-valve opening pressure, consequently the reducing-agent injection valve 28 will close the valve, and addition of the reducing agent into the exhaust air branch pipe 18 will be stopped.

[0079] The electronic control unit (ECU:Electronic Control Unit) 35 for controlling this internal combustion engine 1 is put side by side in the internal combustion engine 1 constituted as stated above. This ECU35 is a unit which controls an internal combustion engine's 1 operational status according to an internal combustion engine's 1 service condition, or a demand of an operator.

[0080] Common-rail-pressure sensor 4a, an air flow meter 11, the intake-air-temperature sensor 12, the pressure-of-induction-pipe force sensor 17, the air-fuel ratio sensor 23, the exhaust-gas-temperature sensor 24, the reducing-agent pressure sensor 32, the crank position sensor 33, a coolant temperature sensor 34, the accelerator opening sensor 36, the EGR opening sensor 38, and the various sensors of EGR gas temperature sensor 37 grade are connected to ECU35 through electric wiring, and the output signal of the various above-mentioned sensors is inputted into ECU35.

[0081] On the other hand, it enables ECU35 to control each part which connected through electric wiring and a fuel injection valve 3, the actuator 14 for inhalation-of-air drawing, the actuator 22 for exhaust air drawing, the EGR valve 26, the flow control valve 30, and the isolation valve 31 grade described above at ECU35.

[0082] Here, ECU35 is equipped with A/D converter (A/D) 355 connected to said input port 356 while it is equipped with CPU351, ROM352 and RAM353, the backup RAM 354 and input port 356 that were mutually connected by the bidirectional bus 350, and an output port 357, as shown in drawing 3.

[0083] Said input port 356 inputs the output signal of the sensor which outputs the signal of a digital signal format like the crank position sensor 33, and transmits those output signals to CPU351 or RAM353.

[0084] Said input port 356 is inputted through A/D355 of the sensor which outputs the signal of an analog signal format like common-rail-pressure sensor 4a, an air flow meter 11, the intake-air-temperature sensor 12, the pressure-of-induction-pipe force sensor 17, the air-fuel ratio sensor 23, the exhaust-gas-temperature sensor 24, the reducing-agent pressure sensor 32, a coolant temperature sensor 34, the accelerator opening sensor 36, the EGR opening sensor 38, and EGR gas temperature sensor 37 grade, and transmits those output signals to CPU351 or RAM353.

[0085] It connects with a fuel injection valve 3, the actuator 14 for inhalation-of-air drawing, the actuator 22 for exhaust air drawing, the EGR valve 26, a flow control valve 30, and isolation valve 31 grade through electric wiring, and said output port 357 transmits the control signal outputted from CPU351 to the above mentioned fuel injection valve 3, the actuator 14 for inhalation-of-air drawing, the actuator 22 for exhaust air drawing, the EGR valve 26, a flow control valve 30, or an isolation valve 31.

[0086] A fuel-injection control routine for said ROM352 to control a fuel injection valve 3, The exhaust air throttling control routine for controlling the inhalation-of-air throttling control routine for controlling the inhalation-of-air throttle valve 13, and the exhaust air throttle valve 21, The NOx clarification control routine for purifying the nitrogen oxides (NOx) absorbed by

the EGR control routine for controlling the EGR valve 26, and the occlusion reduction type NOx catalyst 20, Application programs, such as a poisoning dissolution control routine for canceling poisoning by the oxide of the occlusion reduction type NOx catalyst 20, are memorized.

[0087] In addition to the above-mentioned application program, said ROM352 has memorized various kinds of control maps. Said control map For example, the fuel-oil-consumption control map in which the relation between an internal combustion engine's 1 operational status and basic fuel oil consumption (basic fuel injection duration) is shown, The fuel-injection-timing control map in which the relation between an internal combustion engine's 1 operational status and basic fuel injection timing is shown, The inhalation-of-air throttle valve opening control map in which the relation between an internal combustion engine's 1 operational status and the target opening of the inhalation-of-air throttle valve 13 is shown, The inhalation new-air-volume amendment map in which the relation between the cooling effectiveness of EGR cooler 27 and inhalation new air volume is shown, The exhaust air throttle valve opening control map in which the relation between an internal combustion engine's 1 operational status and the target opening of the exhaust air throttle valve 21 is shown, Whenever [EGR valve-opening / which shows the relation between an internal combustion engine's 1 operational status and the target opening of the EGR valve 26] A control map, The amount amendment map of EGR gas in which the relation between the cooling effectiveness of EGR cooler 27 and the amount of need EGR(s) is shown, The EGR cooler effectiveness presumption map, the target addition of an internal combustion engine's 1 operational status, and a reducing agent (or) which show the relation between EGR gas temperature and the cooling effectiveness of EGR cooler 27 They are the reducing-agent addition control map in which relation with the target air-fuel ratio of exhaust air is shown, the flow control valve control map in which the relation between the target addition of a reducing agent and the valve-opening time amount of a flow control valve 30 is shown.

[0088] Said RAM353 stores the output signal from each sensor, the result of an operation of CPU351, etc. Said result of an operation is an engine rotational frequency by which the crank position sensor 33 is computed based on time spacing which outputs a pulse signal. These data are rewritten by the newest data whenever the crank position sensor 33 outputs a pulse signal.

[0089] Said backup RAM 354 is the memory of the non-volatile after an internal combustion engine's 1 shutdown can remember data to be.

[0090] Said CPU351 operates according to the application program memorized by said ROM352, and performs fuel injection valve control, inhalation-of-air throttling control, exhaust air throttling control, EGR control, NOx clarification control, poisoning dissolution control, and EGR cooler cooling effectiveness presumption control.

[0091] For example, in fuel injection valve control, CPU351 determines first the fuel quantity injected from a fuel injection valve 3, and determines the stage to inject a fuel from a fuel injection valve 3 subsequently.

[0092] When determining fuel oil consumption, CPU351 reads the engine rotational frequency memorized by RAM353 and the output signal (accelerator opening) of the accelerator opening sensor 36. CPU351 is accessed to a fuel-oil-consumption control map, and computes said engine rotational frequency and the basic fuel fuel oil consumption (basic fuel injection duration) corresponding to said accelerator opening. CPU351 amends said basic fuel injection duration based on the output signal value of an air flow meter 11, the intake-air-temperature sensor 12, and coolant temperature sensor 34 grade etc., and determines final fuel injection duration.

[0093] When determining fuel injection timing, CPU351 is accessed to a fuel-injection initiation stage control map, and computes the basic fuel injection timing corresponding to said engine rotational frequency and said accelerator opening. CPU351 amends said basic fuel injection timing by making the output signal value of an air flow meter 11, the intake-air-temperature sensor 12, and coolant temperature sensor 34 grade into a parameter, and determines final fuel injection timing.

[0094] If fuel injection duration and fuel injection timing are determined, CPU351 compares said fuel injection timing and output signal of the crank position sensor 33, and when the output signal of said crank position sensor 33 is in agreement with said fuel-injection initiation stage, it will start the impression of actuation power to a fuel injection valve 3. CPU351 stops the impression of actuation power to a fuel injection valve 3, when the elapsed time from the event of starting the impression of actuation power to a fuel injection valve 3 reaches said fuel injection duration.

[0095] In addition, when an internal combustion engine's 1 operational status is in idle operational status in fuel-injection control, CPU351 computes an internal combustion engine's 1 target idle rpm by making into a parameter the output signal value of a coolant temperature sensor 34, the operating state of the auxiliary machinery which operate like the compressor of the air conditioner for the vehicle interior of a room using the turning effort of a crankshaft, etc. And CPU351 carries out feedback control of the fuel oil consumption so that actual idle rpm may be in agreement with target idle rpm.

[0096] Moreover, in inhalation-of-air throttling control, CPU351 reads the engine rotational frequency and accelerator opening which are memorized by RAM353. CPU351 is accessed to an inhalation-of-air throttle valve opening control map, and computes the target inhalation-of-air throttle valve opening corresponding to an engine rotational frequency and an accelerator opening. CPU351 impresses the actuation power corresponding to said target inhalation-of-air throttle valve opening to the actuator 14 for inhalation-of-air drawing. In that case, CPU351 detects the actual opening of the inhalation-of-air throttle valve 13, and may be made to carry out feedback control of said actuator 14 for inhalation-of-air drawing based on the difference of the opening of the actual inhalation-of-air throttle valve 13, and a target inhalation-of-air throttle valve opening.

[0097] Moreover, CPU351 controls the actuator 22 for exhaust air drawing by exhaust air throttling control that the exhaust air throttle valve 21 should be driven in the direction of clausilium, when an internal combustion engine 1 is in the warm-up condition after start up between the colds, or when the heater for the vehicle interior of a room is in an operating state.

[0098] in this case, an internal combustion engine's 1 load increases and the quantity of fuel oil consumption is increased corresponding to it -- things -- ** Consequently, while an internal combustion engine's 1 calorific value increases and an internal combustion engine's 1 warming up is promoted, the heat source of the heater for the vehicle interior of a room is secured.

[0099] Moreover, in EGR control, CPU351 reads the engine rotational frequency memorized by RAM353, the output signal (circulating water temperature) of a coolant temperature sensor 34, the output signal (accelerator opening) of the accelerator opening sensor 36, etc., and distinguishes whether the execution condition of EGR control is satisfied.

[0100] as the above-mentioned EGR control execution condition, the variation of the accelerator opening by which the internal combustion engine 1 is continuously operated beyond predetermined time from the time of start up which has a circulating water temperature beyond predetermined temperature is a positive value -- etc. -- conditions can be illustrated.

[0101] When it judges with an EGR control execution condition which was described above being satisfied, CPU351 is accessed to a control map whenever [EGR valve-opening] by making an engine rotational frequency and an accelerator opening into a parameter, and computes whenever [corresponding to said engine rotational frequency and said accelerator opening / target EGR valve-opening]. CPU351 impresses the actuation power corresponding to whenever [said target EGR valve-opening] to the EGR valve 26. When it judges with on the other hand an EGR control execution condition which was described above not being satisfied, CPU351 is controlled that the EGR valve 26 should be held in the close-by-pass-bulb-completely condition.

[0102] Next, the EGR control concerning the gestalt of this operation is explained.

[0103] In the EGR control concerning the gestalt of this operation, CPU351 performs the so-called EGR valve feedback control which carries out feedback control of the opening of the EGR valve 26 by making an internal combustion engine's 1 inhalation new air volume into a parameter.

[0104] In EGR valve feedback control, CPU351 determines an internal combustion engine's 1 target inhalation new air volume by making an accelerator opening, an engine rotational frequency, etc. into a parameter, for example. In that case, relation between an accelerator opening, an engine rotational frequency, and target inhalation new air volume is map-ized beforehand, and target inhalation new air volume is computed from the map, accelerator opening, and engine rotational frequency.

[0105] Here, since the heat exchange effectiveness in an EGR cooler falls as compared with the case where plugging has not occurred and EGR gas temperature rises when plugging occurs in an EGR cooler, according to the cooling effectiveness of an EGR cooler, the amount of EGR gas and inhalation new air volume must be changed from the demand of emission.

[0106] That is, if the cooling effectiveness of an EGR cooler is falling, since cooling of the EGR gas inhaled by the cylinder 2 will become imperfection and the ambient temperature of a cylinder 2 will become high, the consistency of EGR gas becomes small. In order to fill the demand of emission, it must stop thereby, having to supply more EGR gas to a cylinder 2. Such relation can be shown as a correlation of EGR cooler effectiveness and the amount of need EGR gas for every engine load, as shown in drawing 5.

[0107] On the other hand, since the temperature of the new mind inhaled by the cylinder 2 rises and a charging efficiency falls so that the cooling effectiveness of an EGR cooler is low, the amount of the new mind inhaled to a cylinder 2 is made to increase. Such relation can be shown as a correlation of EGR cooler effectiveness and inhalation new air volume for every engine load, as shown in drawing 6.

[0108] In order to prevent aggravation of emission, it is necessary to make a cylinder 2 inhale the proper amount of EGR gas and inhalation new air volume which amended the amount of EGR gas, and inhalation new air volume, and balanced the operational status at that time. This amendment approach is shown below.

[0109] In predetermined operational status, since the temperature of EGR gas after passing the temperature of exhaust air and EGR cooler 27 of a new article condition turns into fixed temperature according to the operational status, if the temperature of EGR gas before passing the temperature and EGR cooler 27 of EGR gas after passing EGR cooler 27 of a new article condition is beforehand searched for in the experiment, the relation of EGR gas temperature and the cooling effectiveness of EGR cooler 27 as shown in drawing 4 can be drawn.

[0110] If ROM352 is made to memorize beforehand by using this relation as an EGR cooler effectiveness presumption map, the effectiveness of EGR cooler 27 will be presumed by making into a parameter temperature of the EGR gas after the EGR cooler 27 passage obtained from the output signal of the EGR gas temperature sensor 37.

[0111] Moreover, the required amount of EGR gas is computable from the EGR cooler cooling effectiveness in this time with drawing 5. This computed required amount of EGR gas is memorized by RAM353. If it map-izes beforehand in quest of the valve-opening variation of the EGR valve 26 from which this required amount of EGR gas is obtained, and the inhalation-of-air throttle valve 13 by experiment and ROM352 is made to memorize, based on the required amount of EGR gas, the amount of valve-opening amendments of the EGR valve 26 and the inhalation-of-air throttle valve 13 is computable.

[0112] CPU351 can change the amount of valve opening of the EGR valve 26 and the inhalation-of-air throttle valve 13 based on said computed amount of valve-opening amendments, and can amend the amount of EGR gas, and inhalation new air volume.

[0113] On the other hand, inhalation new air volume is computable from the EGR cooler cooling effectiveness in this time with drawing 6. This computed inhalation new air volume is memorized by RAM353. The inhalation new air volume computed simultaneously is memorized by RAM353 as amendment target inhalation new air volume.

[0114] If amendment target inhalation new air volume is determined by the above-mentioned procedure, CPU351 reads the output signal value (actual inhalation new air volume) of the air flow meter 11 memorized by RAM353, and measures actual inhalation new air volume and amendment target inhalation new air volume.

[0115] When there is less above mentioned actual inhalation new air volume than amendment target inhalation new air volume, CPU351 carries out specified quantity clausilium of the EGR valve 26, and carries out specified quantity valve opening of the inhalation-of-air throttle valve 13. In this case, the amount of EGR gas which flows into the inhalation-of-air branch pipe 8 from the EGR path 25 will decrease, and the amount of EGR gas inhaled in an internal combustion engine's 1 cylinder 2 according to it will decrease. Consequently, only the part to which EGR gas decreased increases the amount of the new mind inhaled in an internal combustion engine's 1 cylinder 2.

[0116] On the other hand, when there is more actual inhalation new air volume than amendment target inhalation new air volume, CPU351 carries out specified quantity valve opening of the EGR valve 26, and carries out specified quantity clausilium of the inhalation-of-air throttle valve 13. In this case, the amount of EGR gas which flows into the inhalation-of-air branch pipe 8 increases from the EGR path 25, and the amount of EGR gas inhaled in an internal combustion engine's 1 cylinder 2 according to it increases. Consequently, only the part from which EGR gas increased the amount of the new mind inhaled in an internal combustion engine's 1 cylinder 2 will decrease.

[0117] Based on EGR cooler effectiveness, amendment of inhalation new air volume and amendment of the amount of EGR gas are attained as mentioned above.

[0118] Thus, Air Fuel Ratio Control corresponding to cooling effectiveness change of an EGR cooler can be performed, and aggravation of exhaust air emission can be prevented.

[0119]

[Effect of the Invention] The exhaust emission control device of the internal combustion engine concerning this invention can presume EGR cooler effectiveness from EGR gas temperature, and can amend the amount of EGR gas, and inhalation new air volume from this presumed EGR cooler effectiveness.

[0120] Consequently, the amount of EGR gas and inhalation new air volume can be rationalized, and aggravation of exhaust air emission can be controlled.

[Translation done.]